SONY

3-856-920-05 (1)

トリニトロン®カラーモニター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

KX-32HV50

目次

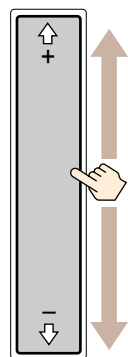
本体で操作する（コントロ

ールパッド）

本体のコントロールパッドを使って簡単に本機を操作できます。
電源が入っていることを確認し、入っていないときは本体のPOWER（パワー）スイッチを押して、STANDBY（スタンバイ）ランプを点灯させてください。

1 CONTROL（コントロール）キーを押す。

コントロール画面（入力切換、メニュー）が表示されます。
カスタムメニュー（☞36ページ）を設定してあるときは、カスタムメニューの項目が表示されます。

2 コントロールパッドをなぞり、切り換えたい入力*またはメニューを選ぶ。

リモコンの選択＋／ーボタンと同じ働きをします。

メニュー画面の左下に⬇が表示されているときは、さらにその下にもメニューなどの項目があることを示しています。引き続きなぞると選べます。

CONTROLキーを押さずにコントロールパッドをなぞると、音量を調節できます。

* カスタムメニュー機能でコントロール画面の設定内容を変更しているときは入力切換画面が表示されません。その場合は「入力切換」を選択すると入力切換画面が表示されます。

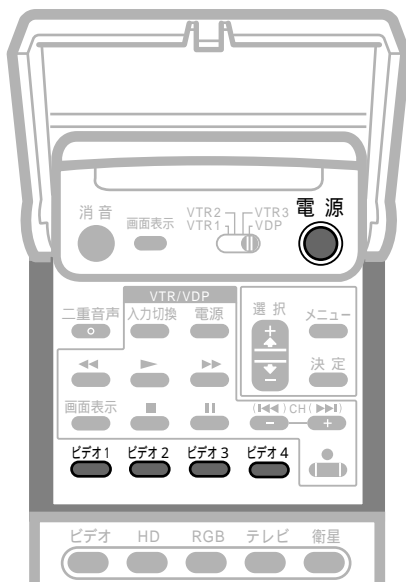
3 ENTER（エンター）キーを押す。

選んだ入力に切り換わります。メニューを選んだときは、各設定や調整メニューが表示されます。
リモコンの決定ボタンと同じ働きをします。

4 メニューを操作するときは手順2と3を繰り返して設定または調整をする。

☞詳しくは「画面を調整する」など、各項目の説明ページをご覧ください。

5 CONTROL（コントロール）キーを押して、コントロール画面を消す。

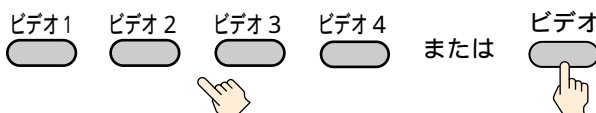
テレビ放送、衛星放送などを見る

TVチューナーやBSチューナー、デジタルCSチューナーなど（以後、チューナーと総称します）をつないで（☞26ページ）、テレビ放送や衛星放送、デジタルCS放送などをお楽しみいただけます。

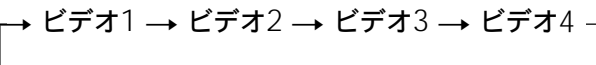
ちょっと一言

- デジタルCS放送を見るには、デジタルCS放送局と受信契約が必要です。詳しくは、デジタルCS放送局へお問い合わせください。また、接続や操作については、デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- ケーブルテレビ（CATV）を見るには、CATV放送局と受信契約が必要です。なお、CATVを受信できない地域もあります。詳しくは、お近くのCATV放送局へお問い合わせください。
- ビデオなどを見るときは、「接続した機器の映像を見る」（☞8ページ）をご覧ください。ビデオデッキ内蔵のTVチューナーやBSチューナーで受信した映像を見ることもできます。

1 電源ボタンを押す。

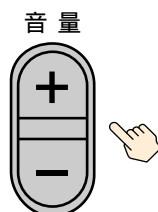
2 チューナーを接続している入力を選ぶ。

本体前面のコントロールパッドでもできます。☞2〜3ページ。

ビデオボタンは、押すたびに下記のように切り換わります。

→ ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3 → ビデオ4 ─┐（ビデオ1に戻る）

3 チューナー側で、チューナーの電源を入れ、チャンネルを選ぶ。

詳しくは、チューナーの取扱説明書をご覧ください。

4

音量+／ーボタンを押して、音量を調節する。

本体前面のコントロールパッドを、CONTROLキーを押さないでなぞっても、調節できます。

ソニー製チューナー*をつないでいるときは

あらかじめ、チューナータイプを設定してください。☞35ページ
本機リモコンのチャンネル+／ーボタンとチャンネル数字ボタンを押して、ソニー製チューナーのチャンネルを切り換えられます。
また、二重音声ボタンで二重音声放送の音声を選べます。

*ソニー製デジタルCSチューナーは除きます。本機リモコンでデジタルCSチューナーのチャンネルは切り換えられません。

SAT-900TVのときは
上記チャンネル切り換えに加えて、下記のボタンでSAT-900TVを操作できます。

本機リモコンで押すボタン	SAT-900TVに対してできること
衛星チューナー電源ボタン	チューナー電源を入／切できる。
テレビボタン	衛星放送からテレビ放送に切り換えられる。
衛星ボタンまたは 衛星チューナーチャンネルボタン	テレビ放送から衛星放送に切り換えられる。
チャンネル+／ーボタンおよび チャンネル数字ボタン (①〜⑮ボタン)	チャンネルを切り換えられる。

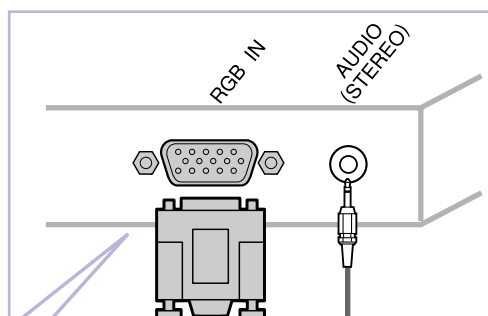
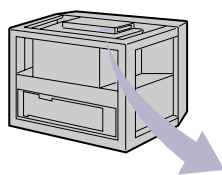
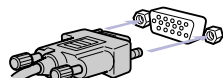
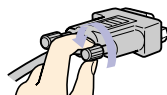
音を一時的に消すには
リモコンの消音ボタンを押します。画面に「消音」の表示が出ます。

画面を消すには
St. GIGAなどの独立音声放送などを聞くときに、モニター本体の画面を消せます。
本体前面のコントロールパッドでもできます。
1 メニューボタンを押す。
2 選択+／ーボタンを押して「各種設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択+／ーボタンを押して「消画」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択+／ーボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

画面に入力などの表示を出すには
リモコンの画面表示ボタンを押します。もう一度画面表示ボタンを押すと、消えます。

マルチメディアやゲームを楽しむ

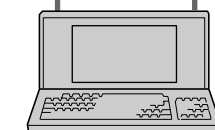
マルチメディア機器をつなぐには

本機にパソコンなどのマルチメディア機器をつないで映像を大きな画面で楽しむことができます。接続できる機種については☞32ページをご覧ください。

⚠注意

パソコンなどを接続した場合、コードに足を引っ掛けないように充分ご注意ください。モニター本体やパソコンの落下や、端子部を破損する恐れがあります。

ご注意

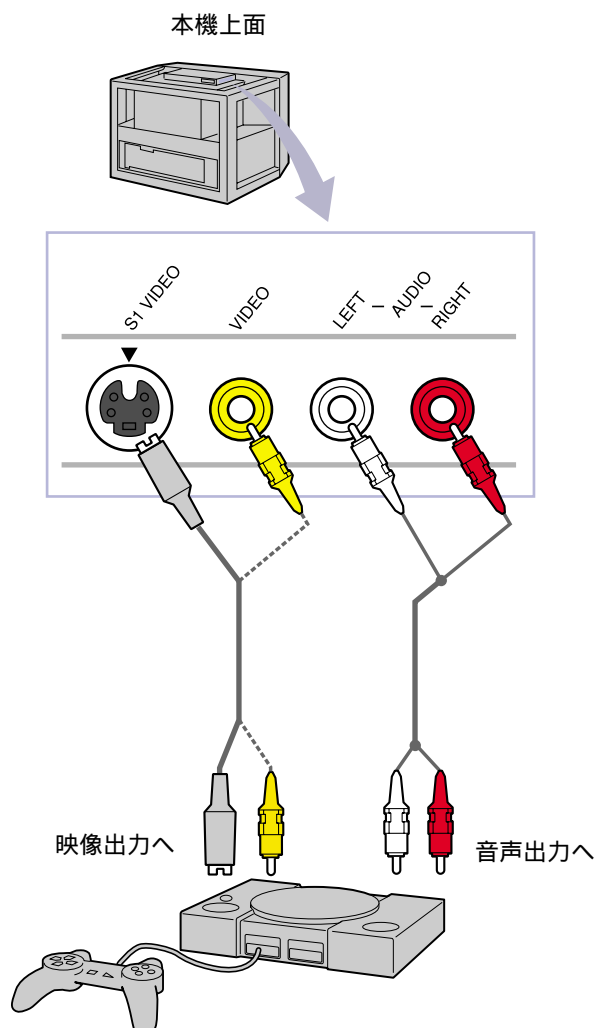
本機のRGB入力は上面と裏面の1系統2入力になっています。誤動作などを避けるためにどちらか一方のRGB入力端子にのみ使用する機器を接続してください。2つのRGB入力端子からの信号を同時に表示したり、切り換えたりすることはできません。

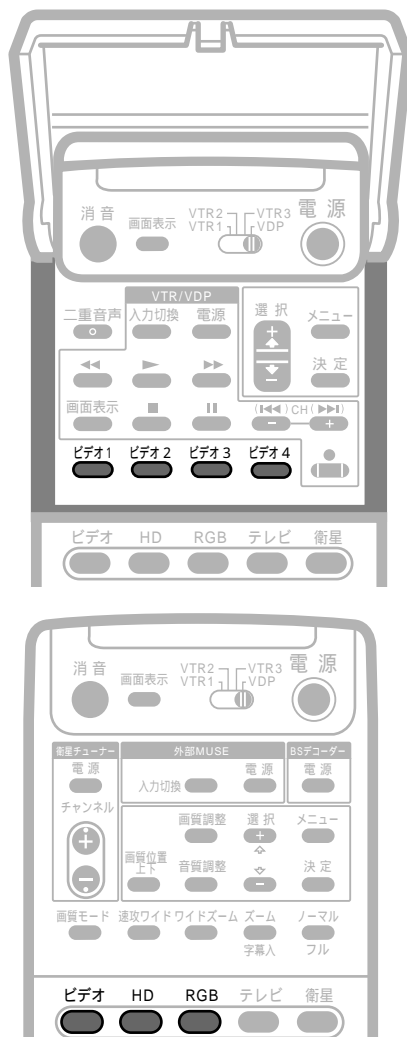
＊のついた用語は用語集をご覧ください。☞50ページ

接続ケーブル

接続する機器によって接続のしかたが異なります。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

パソコンなどの種類	接続するケーブル
DOS/V*コンピューター系	市販ケーブル（3列15ピンDサブ／3列15ピンDサブ）
アップルコンピューター系	市販ケーブル（3列15ピンDサブ／3列15ピンDサブ） ＋ 市販Macintosh*用変換アダプター13インチモードのもの

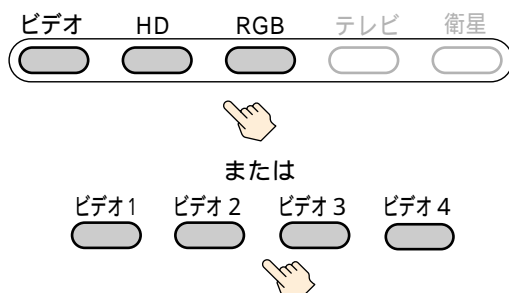
ゲームをつなぐには

本機にゲーム機器をつないで、大きな画面で楽しむことができます。

ゲーム機器を本体裏面のビデオ1、3、4入力端子につなぐこともできます。また市販のアダプターなどをお使いになると、RGB入力端子に接続してお楽しみいただくこともできます。
S1映像端子については☞30ページ。

接続した機器の映像を見る

ご注意
- BS放送を見るにはBSチューナーやBSデコーダー*が必要です。☞26ページ。
  またハイビジョン放送*を見るには、MUSEデコーダー*またはMUSE-NTSCコンバーター*が必要です。
  ☞26、27ページ。
- 本機のRGB入力は上面と裏面の1系統2入力になっています。誤動作などを避けるためにどちらか一方のRGB入力端子にのみ使用する機器を接続してください。2つのRGB入力端子からの信号を同時に表示したり、切り換えたりすることはできません。

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞50ページ

入力を切り換えて、ビデオなど接続した機器の映像を見ることができます。接続のしかたは☞24～33ページ。

1 見たい入力のボタンを押す。

ボタン	接続する機器
ビデオ （ビデオ1～4入力）	テレビチューナー、BSチューナー、BSデコーダー、デジタルCSチューナー、MUSE-NTSCコンバーター、ビデオ、レーザーディスク、ゲーム、文字放送チューナーなど
HD （HD1、2入力）	ハイビジョン（ベースバンド）機器、ハイビジョンVTR、MUSEデコーダーなど
RGB	マルチメディア機器、パソコン、ゲームなど

本体前面のコントロールパッドでもできます。☞2～3ページ。

2 接続している機器を操作する。

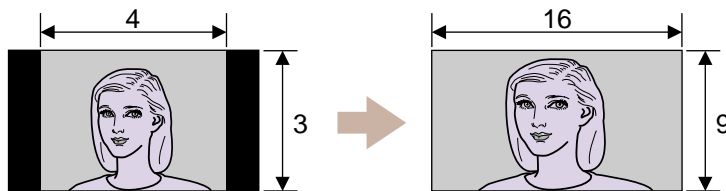
詳しくは、ビデオなどの取扱説明書をご覧ください。
本機のリモコンでもビデオなどを操作できます。☞22ページ。

よりよい映像でご覧いただくには
- RGB入力端子に接続したマルチメディア機器の映像を見るときは、画質モードを「モニター」（☞18ページ）にすることをおすすめします。
- RGB入力端子に接続したゲーム機器の映像を見るときはシャープネスを「切」（☞19ページ）にすることをおすすめします。

ワイド画面を楽しむ（オートワイド）

オートワイド設定（☞11ページ）を「オートワイド：2」にしてビデオ1〜4入力の映像をご覧になっているときは、自動的に画面を検知し、ワイドズーム、ズーム、字幕入のうち、最適なワイド画面に切り換わります。

ワイドズーム

オートワイドで、本機につないだチューナーで受信した通常のテレビ放送（4：3映像）の表示方法を、お好みに合わせて設定できます。お買い上げ時は、ワイド画面に切り換えずに4：3映像のまま表示するように設定されています（「オートワイド：1」）。
メニュー操作でオートワイド設定を「オートワイド：2」「4：3映像：ワイドズーム」に設定しておくと以下のようなワイド映像になります。

4:3映像（本機につないだチューナーで受信した通常のテレビ放送など）

4:3の映像を16:9に拡大し、はみ出た部分を圧縮して画面の上下におさめます。

ズーム

黒帯付きの映画
（字幕は映像の中）

横長の映像をそのまま拡大します。

ワイドクリアビジョン*放送

横長の映像をそのまま16:9ぴったりに拡大します。

字幕入

黒帯付きの映画
（字幕は映像の外）

横長の映像をそのまま拡大し、字幕の部分を圧縮して画面の中におさめます。

オートワイドのときは
- ワイドクリアビジョン*放送識別信号、S-1方式*（S映像入力のとき）、ID-1方式*（S映像／映像入力のとき）の3つの方式を自動的に判別してワイド画面にします。
- ワイドクリアビジョン*放送を受信すると、自動的にズーム画面に切り換わります。

ワイド画面に関して
- このワイド画面モニターは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差がでます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- このワイド画面モニターを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してワイド画面モニターの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞50ページ

ワイド画面を楽しむ（つづき）

手動でワイド画面を楽しんだあと、オートワイドに戻るには
「オートワイド：2」のときに、ワイドズーム、ズーム／字幕入、ノーマル／フルボタンを押すと、一時的に「オートワイド：1」になり、次に入力切換、電源切／入をするか、ワイドクリアビジョン*放送やビデオのID-1方式*などの識別制御信号を受信するまでその画面モードに固定されます。入力切換などをすることにより再び「オートワイド：2」になります。

手動でワイド画面に切り換えるには

ワイドズーム、ズーム／字幕入ボタンを押して、それぞれの画面に切り換えることができます。

●ワイドズーム

ワイドズームボタンを押します。

●ズーム／字幕入

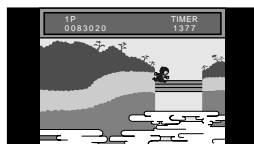
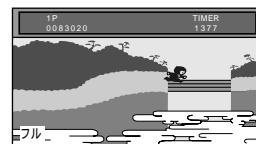
ズーム／字幕入ボタンを押します。
ボタンを押すごとにズームと字幕入が入れ換わります。

速攻ワイドで楽しむには

見ている画面を、すばやく最適なワイド画面に切り換えるには、**速攻ワイドボタン**を押します。押してからすぐに画面が切り換わります。

4:3の映像をワイドズームでご覧になりたいときはワイドズームボタンを押すか、オートワイド設定を「オートワイド：2」「4：3映像：ワイドズーム」にしてください。☞11ページ。

4:3（通常のテレビ画面）または横に拡大した画面を楽しむときは

ノーマル／フルボタンを押すごとにノーマルとフルが切り換わります。フルにすると、テレビゲームなどを迫力のある画面で楽しめます。

ノーマル（4:3の画面）

フル（左右に引き伸ばされた16:9の画面）

画面モードを固定しておくには

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「画面モード」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「オートワイド設定」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「切」を選び、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押す。
この場合には、入力切換、電源切／入をしても、画面モードは固定されたままになります。

上記の手順1〜5の操作は、本体前面のコントロールパッドを使って行うこともできます。

＊のついた用語は用語集をご覧ください。☞50ページ

オートワイドの設定を切り換えるには

お買い上げ時には、オートワイド設定が「オートワイド：1」になっていますので、ワイドクリアビジョン*放送識別信号、S-1方式*（S映像入力のとき）、ID-1方式*（S映像／映像入力のとき）の3つの方式を自動的に判別してワイド画面にします。
上記の3つの方式以外の映像はすべてノーマル画面になります。オートワイドでご覧になりたいときは、下記の手順で設定を切り換えてください。

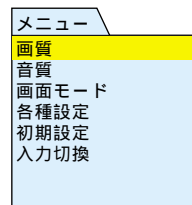
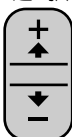
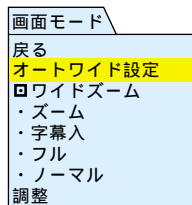
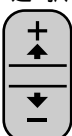
1 メニューボタン押す。

メニュー

メニュー
画質
音質
画面モード
各種設定
初期設定
入力切換

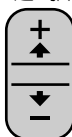
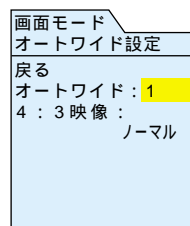
2 選択＋／ーボタンを押して「画面モード」を選び、決定ボタンを押す。

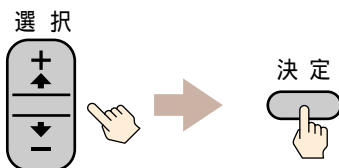
選 択

決 定

画面モード
戻る
オートワイド設定
ロワイドズーム
・ズーム
・字幕入
・フル
・ノーマル
調整

3 選択＋／ーボタンを押して「オートワイド設定」を選び、決定ボタンを押す。

選 択　決 定

4 選択＋／ーボタンを押して「オートワイド」を選び、決定ボタンを押す。

選 択　決 定

つづく

オートワイドの設定は、本体前面のコントロールパッドを使って行うこともできます。

5 選択＋／ーボタンを押して「2」を選び、決定ボタンを押す。

6 選択＋／ーボタンを押して「4：3映像」を選び、決定ボタンを押す。

7 選択＋／ーボタンを押して「ノーマル」または「ワイドズーム」を選び、決定ボタンを押す。

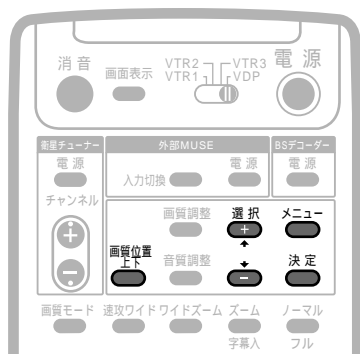
8 メニューボタンを押してメニューを消す。

オートワイド設定

メニューでの設定		入力映像信号の表示方法	
「オートワイド」	「4：3映像」	ワイドクリアビジョン*、ID-1方式*、S1方式*などの各種識別信号が付いた映像	左記の各種識別信号の無い映像
「1」	―	識別信号に合わせて画面モードを切り換えて表示します。	任意の画面モード（お買い上げ時はノーマル）で表示します。
「2」	「ノーマル」	識別信号に合わせて画面モードを切り換えて表示します。	•4：3映像はノーマルで表示します。 •黒帯付きの映像はズームまたは字幕入で表示します。
	「ワイドズーム」	識別信号に合わせて画面モードを切り換えて表示します。	•4：3映像はワイドズームで表示します。 •黒帯付きの映像はズームまたは字幕入で表示します。
「切」	―	任意の画面モード（お買い上げ時はノーマル）で表示します。	任意の画面モード（お買い上げ時はノーマル）で表示します。

「オートワイド：切」を選ぶと全ての映像を任意の画面モード（お買い上げ時はノーマル）で表示します。

画面を調整する

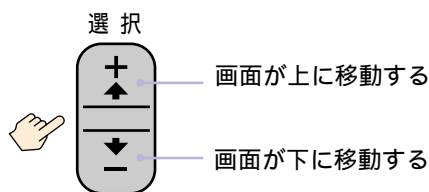
本機は各種のメディアに対応するために、画面調整が多くの項目にわたってできるようになっています。
現在入力している信号について調整でき、入力信号の周波数と各画面モード（ズーム、フル、ノーマル、ワイドズーム、字幕入）ごとに設定することができます。

入力信号の水平周波数	調整できる画面モード
NTSC　15.75kHz	ズーム、フル、ノーマル ワイドズーム、字幕入
VGA*1 ワイドクリアビジョン フルスペック　31.5kHz	ズーム、フル、ノーマル
ハイビジョン　33.75kHz	ズーム、フル
Macintosh*2 13インチカラー　35kHz	ズーム、フル、ノーマル

*1 VGAは米国IBM社の登録商標です。
*2 Macintoshはアップルコンピューター社の登録商標です。

画面位置を上下に調整するには

（ワイドズーム、ズーム、字幕入の時にのみ調整できます。）
以下のようなときは、画面を上下に動かしてください。
- ワイドズーム画面で画面の上または下が欠けるとき。
- ズーム画面で画面を見やすい位置にしたいとき。
- 字幕入画面にしても字幕が画面に入りきらないとき。

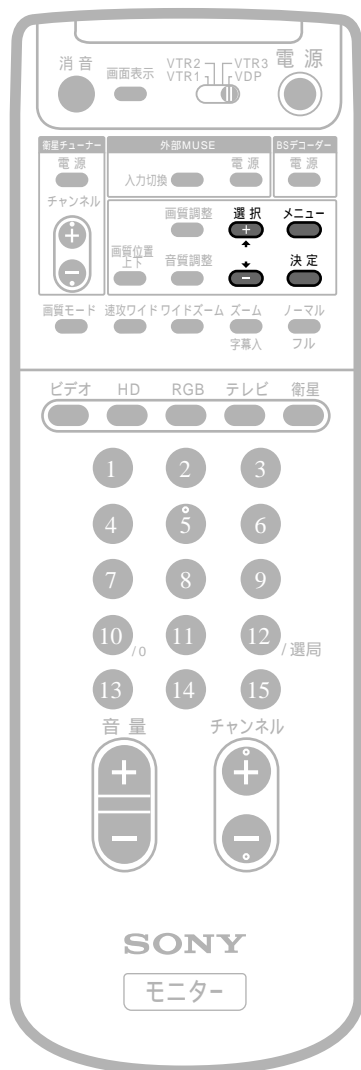
1 画面位置上下ボタンを押す。

2 選択＋／ーボタンを押して画面の位置を調整する。

3 画面位置上下ボタンを押してメニューを消す。

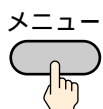
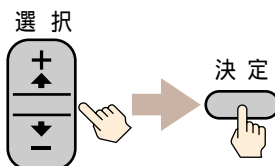
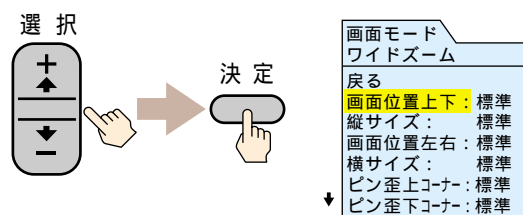
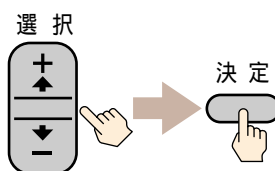
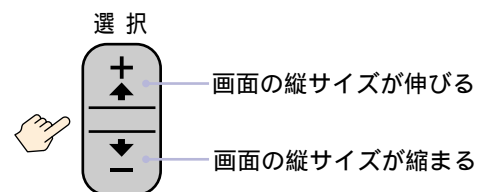
画面位置は、本体前面のコントロールパッドを使ってメニューで調整することもできます。

＊のついた用語は用語集をご覧ください。☞50ページ

つづく

画面を調整する（つづき）

映像を縦方向に伸ばしたり縮めたりするには

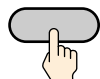
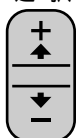
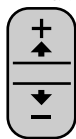
（ワイドズーム、ズーム、字幕入の時にのみ調整できます。）

1 **メニューボタンを押す。**

2 **選択＋／－ボタンを押して「画面モード」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **選択＋／－ボタンを押して「調整」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **選択＋／－ボタンを押して「縦サイズ」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **選択＋／－ボタンを押して調整し、決定ボタンを押す。**

6 **メニューボタンを押してメニューを消す。**

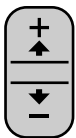
縦サイズの調整は、本体前面のコントロールパッドを使って行うこともできます。

画面位置を左右に調整するには

(HD1、2入力、RGB入力の時にのみ調整できます。)

1 **メニューボタンを押す。**

2 **選択＋／−ボタンを押して「画面モード」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **選択＋／−ボタンを押して「調整」を選び、決定ボタンを押す。**

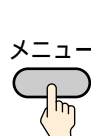
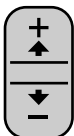
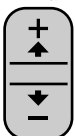
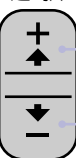
4 **選択＋／−ボタンを押して「画面位置左右」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **選択＋／−ボタンを押して調整し、決定ボタンを押す。**

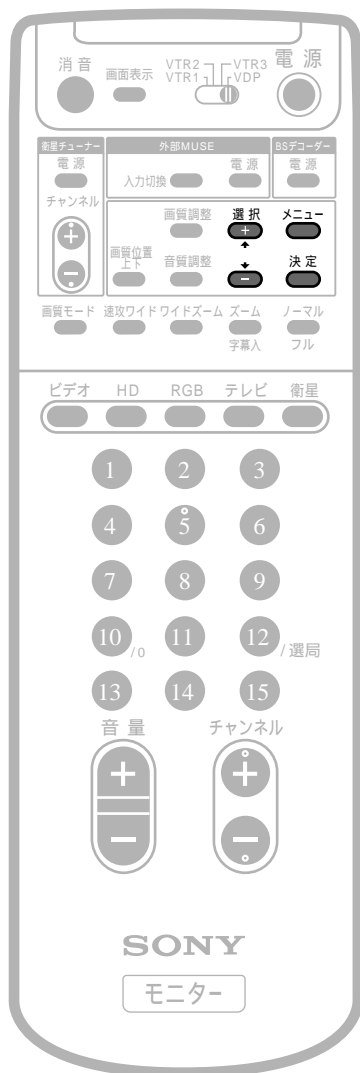
6 **メニューボタンを押してメニューを消す。**

画面位置の調整は、本体前面のコントロールパッドを使って行うこともできます。

映像を横方向に伸ばしたり縮めたりするには

(HD1、2入力、RGB入力の時にのみ調整できます。)

1 **左の手順1〜3を行う。**

2 **選択＋／−ボタンを押して「横サイズ」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **選択＋／−ボタンを押して調整し、決定ボタンを押す。**

4 **メニューボタンを押してメニューを消す。**

横サイズの調整は、本体前面のコントロールパッドを使って行うこともできます。

このページの調整項目は、本体前面のコントロールパッドを使って行うこともできます。

画面の歪みを調整するには

糸巻歪み、台形歪み、縦線の歪みを調整することができます。調整用の映像は市販のレーザーディスク等のテストディスクやテスト信号発生機器などお使いください。

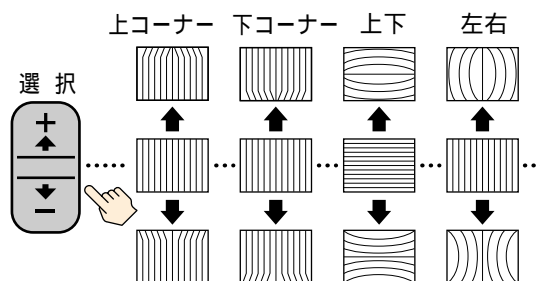
糸巻歪みを調整するには

1 メニューボタンを押す。

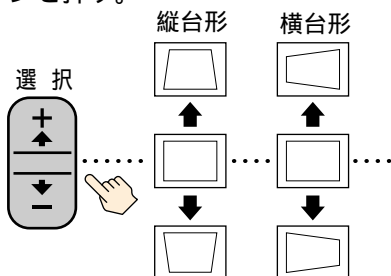
2 選択＋／−を押して「画面モード」を選び、決定ボタンを押す。

3 選択＋／−ボタンを押して「調整」を選び、決定ボタンを押す。

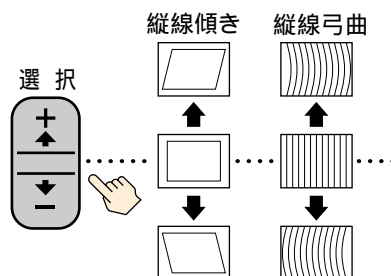
4 選択＋／−ボタンを押して「ピン歪上コーナー」、「ピン歪下コーナー」、「ピン歪上下」、「ピン歪左右」のうちいずれかを選び、決定ボタンを押す。

5 選択＋／−ボタンを押して調整し、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押してメニューを消す。

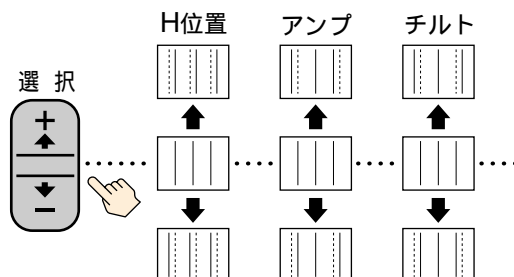
台形歪みを調整するには

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「画面モード」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「調整」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「縦台形」または「横台形」を選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／ーボタンを押して調整し、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押してメニューを消す。

縦線歪みを調整するには

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「画面モード」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「調整」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「縦線傾き」または「縦線弓曲」を選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／ーボタンを押して調整する。

6 メニューボタンを押してメニューを消す。

色ずれを調整するには

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「画面モード」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「調整」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「コンバーH位置」、「コンバーアンプ」、「コンバーチルト」のいずれかをを選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／ーボタンを押して調整し、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押してメニューを消す。

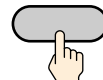
画面モードの調整値をすべて標準に戻すには

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「画面モード」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「調整」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「標準」を選び、決定ボタンを押す。
現在入力している信号の画面モードの各調整項目がすべてお買い上げ時の設定にもどります。
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

画質を調整する

部屋の明るさや番組に合わせて、3種類の画質モードを選ぶことができます。

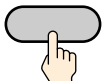
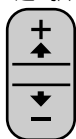
画質調整は数種類設定できます
画質調整は、入力端子（ビデオ1～4入力、HD1、2入力、RGB入力）ごとに3種類の画質モードをそれぞれ設定することができます。☞45ページ

部屋の明るさに合わせて画質モードを選ぶ

画質モードは、本体前面のコントロールパッドを使ってメニューで選ぶこともできます。

お好みの画質に調整する

画質モード（スタンダード、シアター、モニター）の画質を入力端子（ビデオ1～4入力、HD1、2入力、RGB入力）ごとにお好みに合わせて調整し、記憶させることができます。☞45ページ。画質モードボタンを押して画質モード（スタンダード、シアター、モニター）を選ぶと、入力端子ごとに記憶させた画質で見ることができます。

1 **画質調整ボタンを押す。**

画質調整

2 **選択＋／－ボタンを押して調整する項目を選び、決定ボタンを押す。**

4 **選択＋／－ボタンを押して調整し、決定ボタンを押す。**

調整項目	選択＋／－ボタンで調整する
ピクチャー	最小、1～99、最大の間で調整する
色あい	G（緑）最大、G49～標準～R49、R（赤）最大の間で調整する
色の濃さ	最小、1～99、最大の間で調整する
明るさ	最小、1～99、最大の間で調整する
シャープネス	切、1～99、最大の間で調整する
色温度	「高」、「中」、「低」の中から選ぶ
NR（ノイズリダクション）	「強」、「中」、「弱」、「切」の中から選ぶ ざらつきを軽減します。
VM（ベロシティモジュレーション） （速度変調）	「強」、「中」、「弱」、「切」の中から選ぶ 輪郭を強調します。
Hホワイト（ハイパー）	「入」、「切」のどちらかを選ぶ 白色の鮮明さを強調します。
Dピクチャー（ダイナミック）	「強」、「中」、「弱」、「切」の中から選ぶ コントラストを強調します。
色補正	「J」、「U」、「切」の中から選ぶ 肌色の色合いを選びます。 「J」は日本向け、「U」はアメリカ向けの肌色を再現します。 （HD1、HD2、RGB入力の時は選択できません。）
ガンマ補正	切、－7～標準～＋7の間で調整する 映像の明暗部分のバランスを調整します。
DC補正	「切」、「1」、「2」、「3」の中から選ぶ 黒の再現レベルを調整します。
標準	お買い上げ時の設定に戻る

5 **画質調整ボタンを押してメニューを消す。**

画質調整は、本体前面のコントロールパッドを使って行うこともできます。

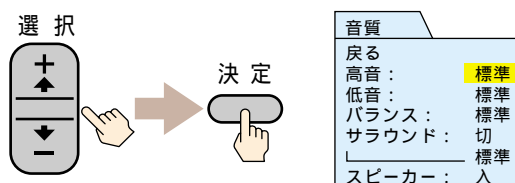
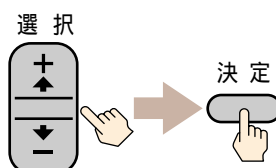
音質を調整する

音質をお好みに合わせて入力端子（ビデオ1〜4入力、HD1、2入力、RGB入力）ごとに調整し、記憶させることができます。☞45ページ

音質の調整は、本体前面のコントロールパッドを使って行うこともできます。

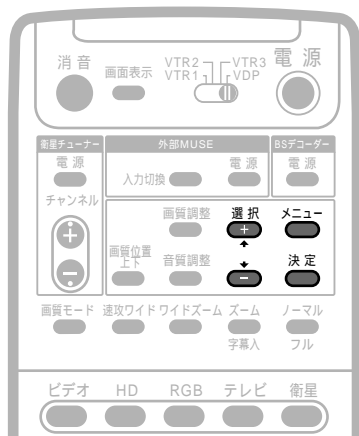
*のついた用語は用語集をご覧ください。☞50ページ

1 音質調整ボタンを押す。

2 選択＋／ーボタンを押して調整する項目を選び、決定ボタンを押す。

3 選択＋／ーボタンを押して調整し、決定ボタンを押す。

調整項目	選択＋／ーボタンを押す
高音	最小、ー9〜標準〜＋9、最大の間で調整する
低音	最小、ー9〜標準〜＋9、最大の間で調整する
バランス	L（左）最大、L49〜センター〜R49、R（右）最大の間で調整する
サラウンド*	「1」、「2」、「3」、「切」のいずれかを選ぶ 1：ホールサラウンド1 音楽番組などに 2：ホールサラウンド2 映画番組などに 3：シミュレートステレオ モノラル音声に広がりを与えます。
標準	お買い上げ時の設定に戻る

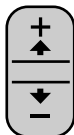
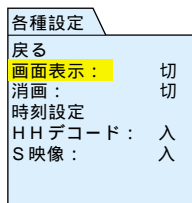
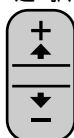
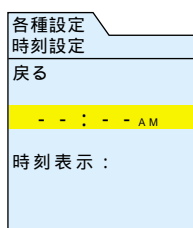
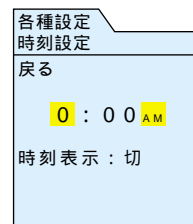
「スピーカー：入／切」については☞33ページ。

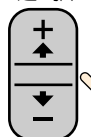
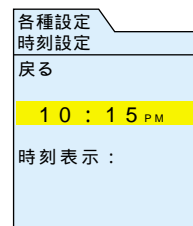
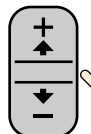
4 メニューボタンを押してメニューを消す。

時計を使う

時刻を表示する

昼の12時は0:00PM、夜の12時は0:00AMと表示されます。

1 **メニューボタンを押す。**

2 **選択＋／ーボタンを押して「各種設定」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **選択＋／ーボタンを押して「時刻設定」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **「ーー：ーーAM」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。**

5 **時間を設定する。**

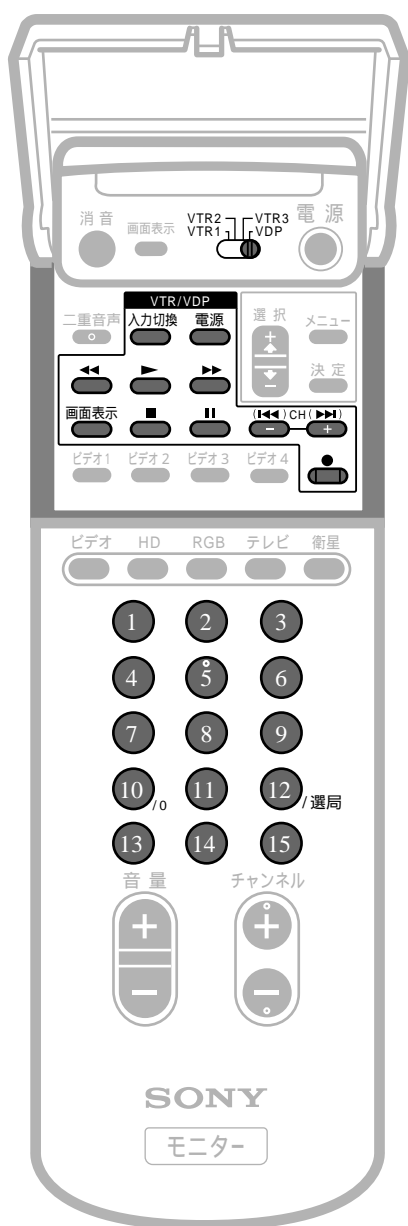
時→分の順に設定します。選択＋／ーボタンを押して数字を送り、決定ボタンを押して、時刻を設定します。

6 **選択＋／ーボタンを押して「時刻表示」を選び決定ボタンを押し、選択＋／ーボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。**

7 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

時刻表示が出ます。

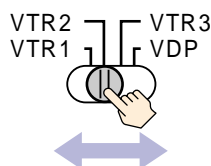
本機のACコードをコンセントから抜くと設定した時刻はーー：ーーAMに戻り、時刻表示は出なくなります。

時刻の設定／表示は、本体前面のコントロールパッドを使って行うこともできます。

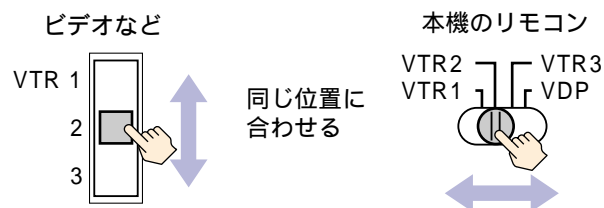
本機のリモコンでビデオなどを操作する

本機のリモコンで、ソニー製のビデオやビデオディスクプレーヤーを操作できます。
また、他のメーカーのビデオ機器も操作できます。右ページの「メーカー設定の登録番号」の表をご覧ください。

ソニー製のビデオなどを操作するには

ご使用の機器にリモコンモード切り換えスイッチが無いとき

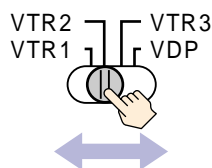
機器に合わせて本機のリモコンの切り換えスイッチを動かします。

ご使用の機器	スイッチの位置
ベータ、EDベータ	VTR1
8ミリ、Hi-8	VTR2
VHS、S-VHS	VTR3
ビデオディスクプレーヤー MDP（マルチディスクプレーヤー）	VDP

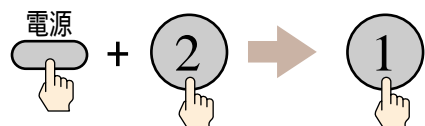
ご使用の機器にリモコンモード切り換えスイッチがあるとき

本機のリモコンの切り換えスイッチと同じ位置に合わせます。
2台以上の機器を操作するときは、違う位置にしておくと誤動作を避けられます。

ご注意
他のメーカーの機器を操作できるように設定していると、ソニーの機器を操作することはできません。☞23ページ。

他のメーカーのビデオなどを操作するには

1 **切り換えスイッチの位置を選ぶ。**

ビデオは「VTR1〜3」に、ビデオディスクプレーヤーは「VDP」に合わせてください。
複数の機器をお持ちのときは、他の機器と違う位置を選んでください。
例えば、ソニーの8ミリのビデオデッキをお持ちの場合はVTR2が使われているので、VTR1またはVTR3にしてください。

2 VTR／VDP**電源ボタンを押しながら、チャンネル数字ボタンで、操作する機器のメーカーの登録番号を押す。**

例）　東芝のビデオの場合

ご注意
- お買い上げ時はソニー製の機器を操作できるように設定されています。
- 数字ボタンは間をおかないで確実に続けて押してください。
- 登録番号が数種類あるメーカーの場合は、お持ちの機器が操作できるようになるまで、順番に設定していってください。
- リモコンの電池を5分以上取り出したり、電池の寿命がきたりすると、設定した内容は消え、お買い上げ時の設定に戻ります。この場合は、もう一度設定し直してください。
- 他のメーカーの機器には、設定をしても操作できないものもあります。
またリモコンのボタンに対応する機能自体が無ければ操作することはできません。

メーカー設定の登録番号

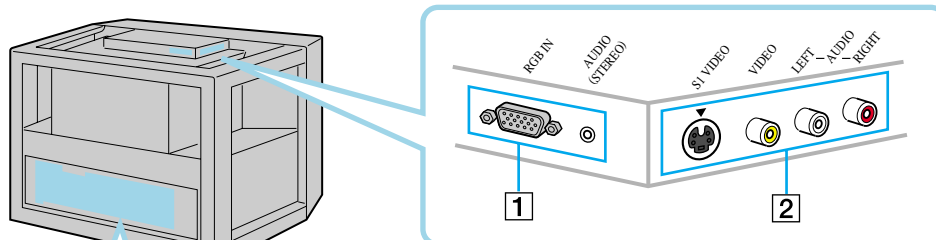
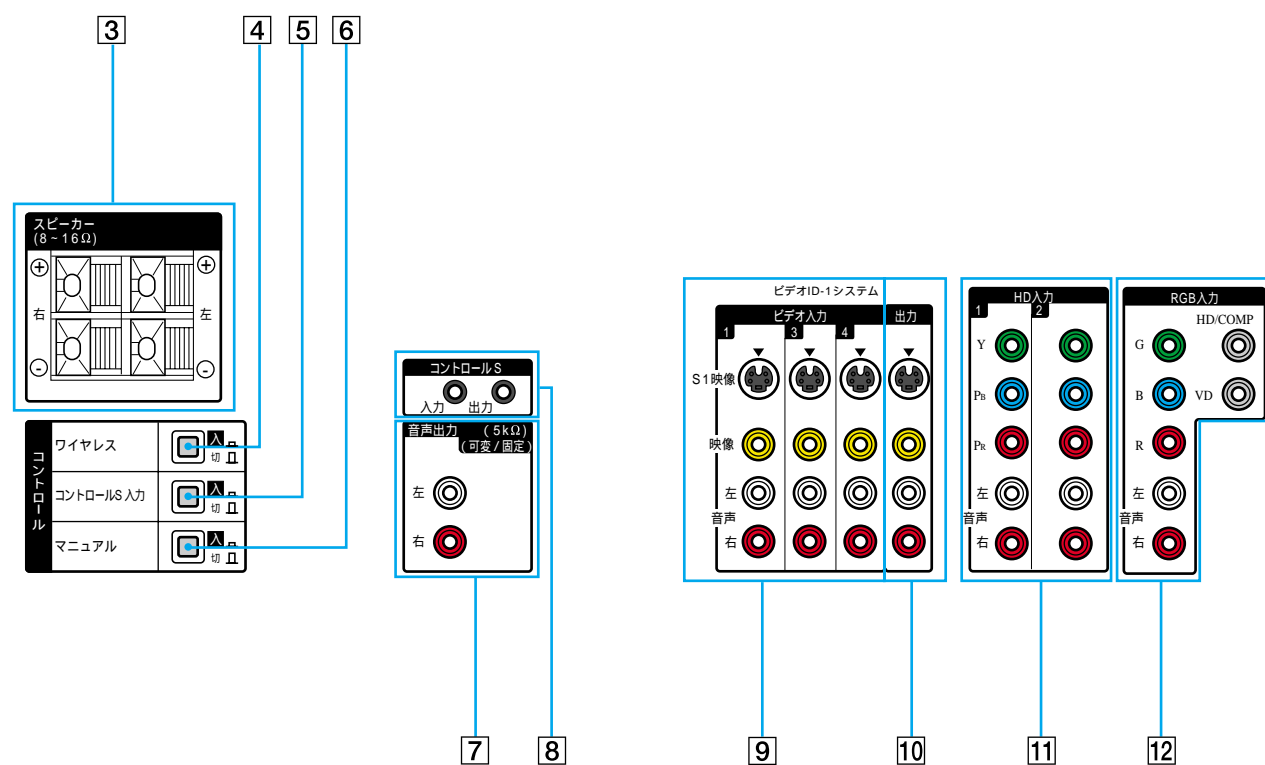
ビデオ	登録番号
ソニーVTR1 VTR2 VTR3	1と1 1と2 1と3
松下	1と4、1と5、1と6、1と7
ビクター	1と8、1と9、1と10
日立	1と11、1と12
東芝	2と1、2と2
シャープ	2と3、2と4、2と5
三洋	2と6、2と7
三菱	2と8、2と9
NEC	2と10

ビデオディスクプレーヤー	登録番号
ソニー（MDP1） （MDP2）	3と1 3と6
パイオニア、A&D	3と2
ヤマハ	3と3
松下	3と4、3と5、3と6

リモコンで操作できること

お持ちの機器の操作	リモコンのボタン
電源を入れる	VTR/VDP電源ボタン
再生する	►ボタン
再生などを止める	■ボタン
早送りする（ビデオのみ）	►►ボタン
巻き戻しする（ビデオのみ）	◄◄ボタン
一時停止する（ポーズ）	❚❚ボタン
画像を見ながら早送りする	再生中に►►ボタンを押す
画像を見ながら巻き戻しする	再生中に◄◄ボタンを押す
録画する（ビデオのみ）	●ボタン
チャンネルを切り換える（ビデオのみ）	❙◄◄ −／＋►►❙ボタン
チャプターのあたま出しをする（ビデオディスクプレーヤーのみ）	❙◄◄ −／＋►►❙ボタン
入力を切り換える	入力切換ボタン

接続端子について

本機上面
RGB IN
AUDIO (STEREO)
S1 VIDEO
VIDEO
LEFT
AUDIO
RIGHT
1
2
本機裏面
3
4
5
6
スピーカー (8〜16Ω)
右
左
コントロール
ワイヤレス
コントロールS入力
マニュアル
入
切
コントロールS
入力
出力
音声出力 (5kΩ) (可変／固定)
左
右
ビデオID-1システム
ビデオ入力
出力
1
3
4
S1映像
映像
左
音声
右
HD入力
1
2
Y
PB
PR
RGB入力
HD/COMP
G
B
VD
R
7
8
9
10
11
12

☞のページに詳しい説明があります。

1 RGB**入力**（RGB IN／AUDIO）**端子**☞6**ページ**
マルチメディア機器やゲーム機器のRGB出力に接続します。「接続できるマルチメディア機器の種類」☞32ページを見て、信号の種類を確認してください。音声はステレオミニジャックでの2チャンネル入力です。
RGB入力は上面1と裏面12の1系統2入力になっています。誤動作などを避けるためにどちらか一方のRGB入力端子にのみ使用する機器を接続してください。2つのRGB入力端子からの信号を同時に表示したり、切り換えたりすることはできません。

2 **ビデオ**2**入力**（S1 VIDEO／VIDEO／AUDIO）**端子**☞7**ページ**
ゲームやビデオカメラレコーダーなどをつなぎます。

3 **スピーカー出力**
別売りのスピーカーをつなぎます。

4 **コントロールワイヤレススイッチ**☞28**ページ**
通常は「入」にしておきます。
「入」のとき
本機のリモコン受光部が本機リモコンからの信号を受け付けます。
「切」のとき
本機リモコンで本機を操作できなくなります。

5 **コントロール**S**入力スイッチ**☞28**ページ**
通常は「入」にしておきます。
「入」のとき
本機のコントロールS入力端子に他のソニー製機器をつないだときに、その機器のリモコンをその機器のリモコン受光部に向けて、本機を操作できます。詳しくは、つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。
「切」のとき
本機のコントロールS入力端子に他のソニー製機器をつないで、その機器のリモコンをその機器のリモコン受光部に向けても、本機を操作できません。詳しくは、つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。

6 **コントロールマニュアルスイッチ**☞28**ページ**
通常は「入」にしておきます。
「入」のとき
モニター前面の操作キーが働きます。
「切」のとき
電源スイッチを除くすべての操作キーが働かなくなります。

7 **音声出力（可変／固定）端子**☞33**ページ**
オーディオ機器などをつなぎます。メニューで「音声出力」を「可変」に設定すると、モニター側で音量を調整することができます。

8 **コントロール**S**入力／出力端子**☞28**ページ**
入力端子
他のソニー製機器のコントロールS出力端子につないだときに、本機のリモコンをその機器のリモコン受光部に向けて、本機を操作できます。（コントロールS入力スイッチを「入」にします。）詳しくは、つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。
出力端子
他のソニー製機器のコントロールS入力端子につないだときに、他のソニー製機器のリモコンを本機リモコン受光部に向けて、他の機器を操作できます。
VT-5XRなどのソニー製チューナーは、本機のリモコンのテレビ電源ボタンに連動して、チューナーの電源を入／切できます。

ご注意
ソニー製チューナーSAT-900TVの電源は、本機の電源に連動しません。本機リモコンの衛星チューナー電源ボタンを押すと、SAT-900TVの電源を入／切できます。☞5ページ

9 **ビデオ**1、3、4**入力**（S1**映像***／**映像／音声**）**端子**
☞26～28、30、31**ページ**
TVチューナーやBSチューナー、デジタルCSチューナー、ビデオ機器（ビデオデッキやマルチディスクプレーヤーなど）をつなぎます。ソニー製チューナーを接続する場合は、チューナーのタイプを設定しておく必要があります。☞35ページ
S1**映像***
S映像信号にワイドモードの識別信号を含んでいます。S1映像に対応したビデオデッキでのみ録画／再生できます。ビデオ出力には対応していません。
ID-1*
ビデオ信号にワイドモードの識別信号を含んでいます。S映像端子と映像（コンポジット）端子の両方に有効です。通常のビデオデッキで録画／再生できます。

10 **ビデオ出力**（ID-1*）（S1**映像***／**映像／音声**）**端子**
☞31**ページ**
ビデオデッキをつなぎます。映像や音声を記録することができます。

ご注意
本機に映っている映像／音声の信号を出力しますが、HD、RGBの信号は出力されません。

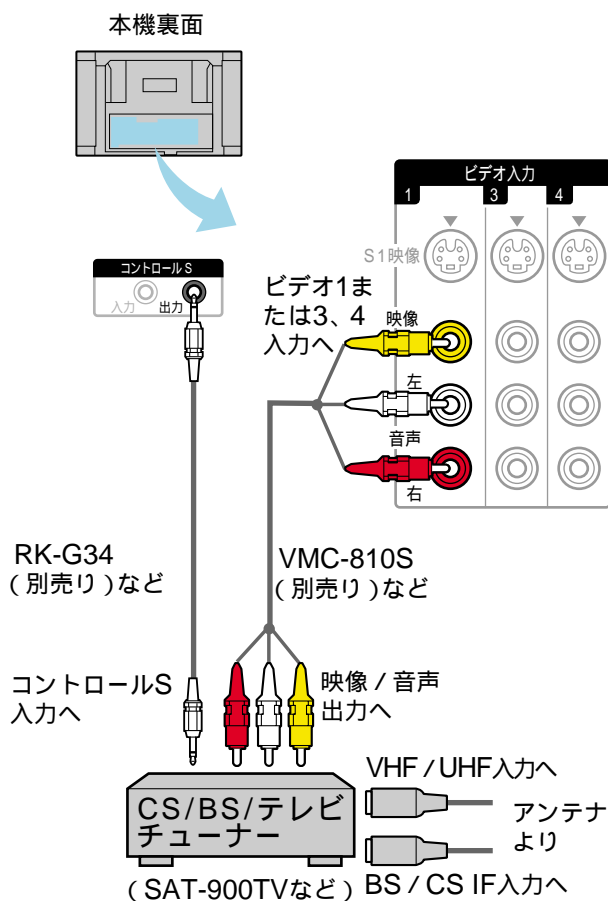
11 HD1、2**入力端子**☞26、27、31**ページ**
映像入力端子
Y、PB、PRで入力します。ハイビジョン機器の映像出力端子とつなぎます。
音声入力端子
ハイビジョン機器の音声出力端子とつなぎます。

12 RGB**入力**（RGB／**音声**／HD／COMP／VD）**端子**
マルチメディア機器やゲーム機器のRGB出力に接続します。「接続できるマルチメディア機器の種類」☞32ページを見て、信号の種類を確認してください。
垂直、水平／コンポジット同期信号を接続することができます。

*のついた用語は用語集☞50ページをご覧ください。

テレビ／衛星放送の機器をつなぐ

TVチューナーやBSチューナー、デジタルCSチューナーをつないで、テレビ放送や衛星放送、デジタルCS放送を見ることができます。
チューナーにはTV、BS単体のものや、TV／BS一体型のものなどがあります。
アンテナの接続をはじめ、各チューナーの取扱説明書も併せて、必ずご覧ください。

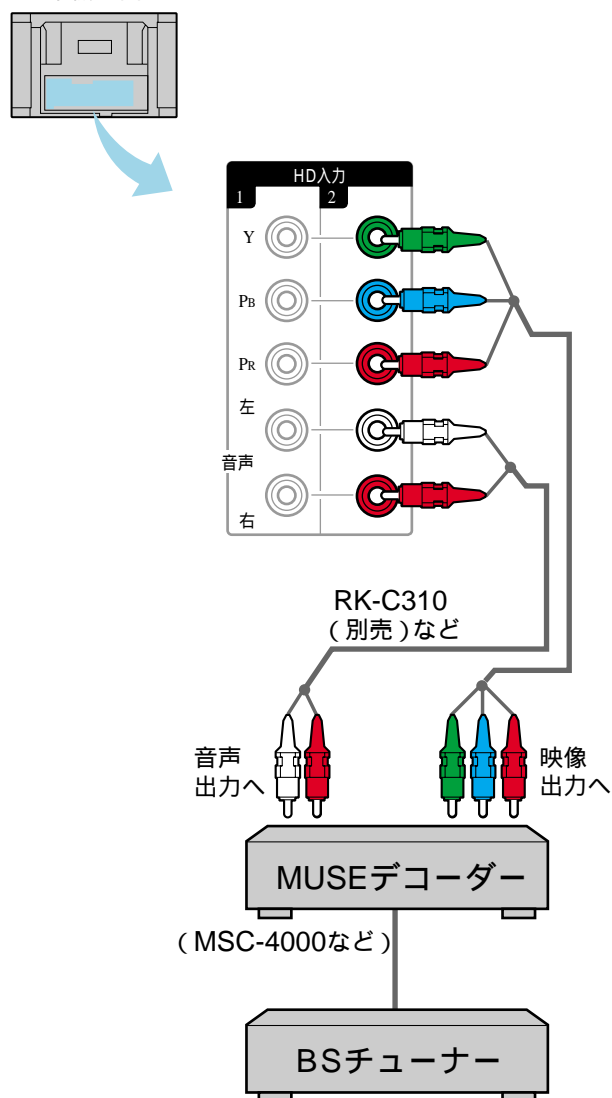
チューナー*

ソニー製のチューナーを本機のリモコンで操作することができます。接続するチューナーによってチューナーの設定を変えてください。

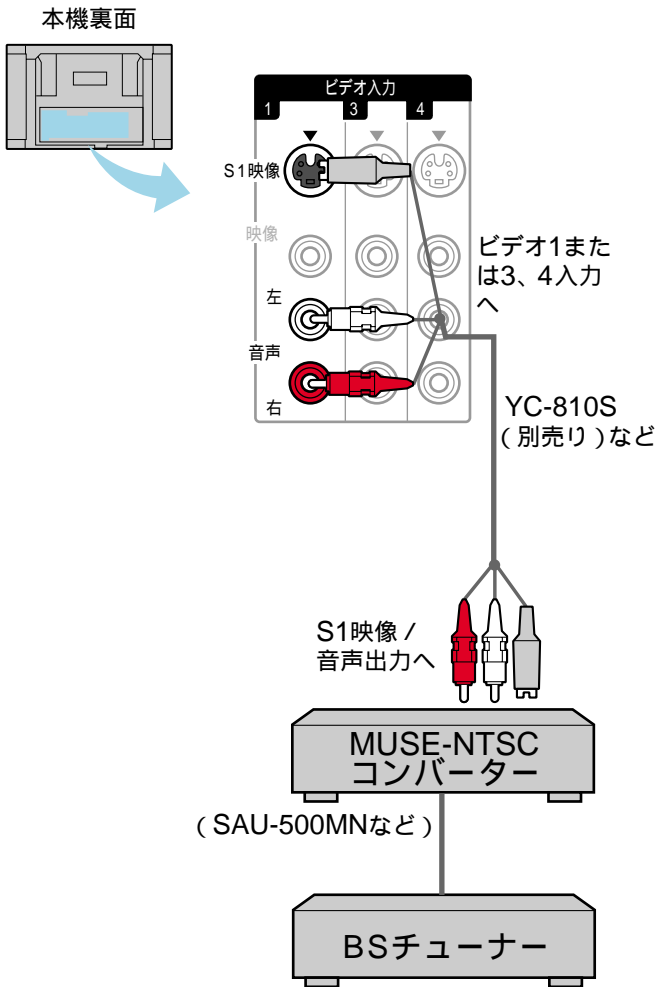
☞35ページ。

JSBデコーダー（WOWOW／St.GIGA）またはCS放送のデコーダー*はチューナーのデコーダー入力に接続してください。

MUSEデコーダー*（ハイビジョン）

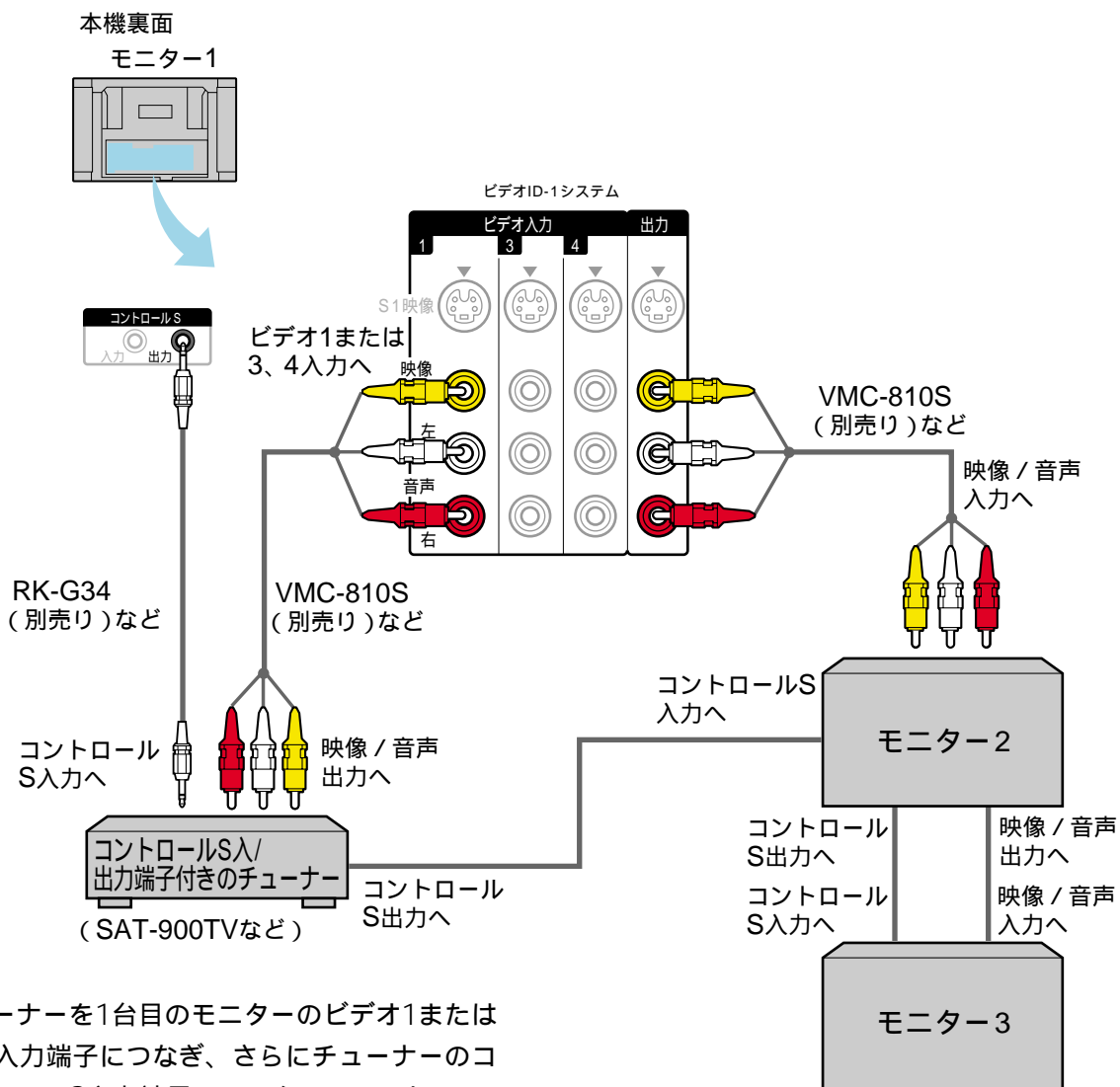
ハイビジョン放送を走査線1125本、水平走査周波数33.75 kHzのフルスペックで見ることができます。

本機裏面

MUSE-NTSCコンバーター＊

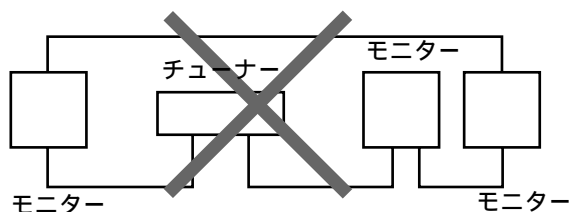
ハイビジョン放送をNTSC方式に変換して見ることができます。

＊のついた用語は用語集をご覧ください。☞50ページ

複数のモニターをつなぐ

本機裏面
モニター1

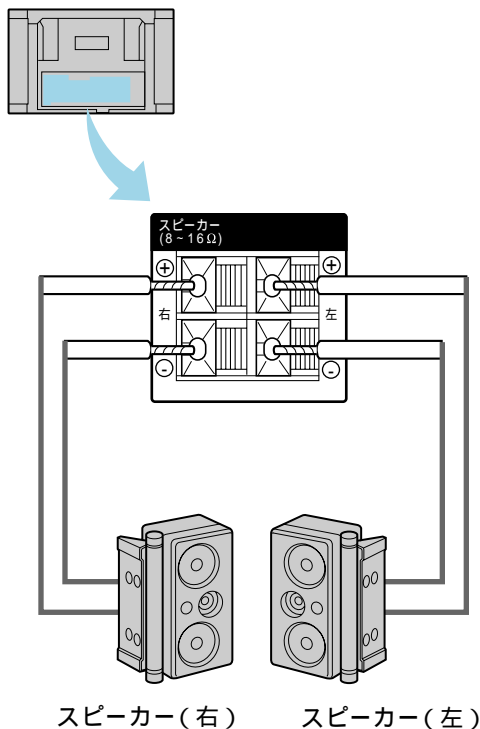
ビデオID-1システム
ビデオ入力
出力
1
3
4
S1映像
映像
左
音声
右
コントロールS
入力
出力
ビデオ1または
3、4入力へ
VMC-810S
（別売り）など
映像／音声
入力へ
RK-G34
（別売り）など
VMC-810S
（別売り）など
コントロールS
入力へ
モニター2
コントロール
S入力へ
映像／音声
出力へ
コントロールS入/
出力端子付きのチューナー
（SAT-900TVなど）
コントロール
S出力へ
コントロール
S出力へ
映像／音声
出力へ
コントロール
S入力へ
映像／音声
入力へ
モニター3

チューナーを1台目のモニターのビデオ1または3、4入力端子につなぎ、さらにチューナーのコントロールS入力端子にモニターのコントロールS出力をつなぎます。2台目以降のモニターでは、コントロールS入力スイッチは「入」に、コントロールワイヤレススイッチは「切」にします。☞25ページ

ご注意

次のような接続をすると、コントロール信号が混在して、正常な操作ができません。

- 上図のような接続をすれば、付属の、または他の機器のリモコンをモニター1に向けるだけで複数のモニターを操作できます。
- リモコンを向けて操作する中心モニター（上図ではモニター1）のコントロールS出力は必ず映像ソースとなるチューナーなどのコントロールS入力へつないでください。
- モニターの電源が入っていないとビデオ出力からは何も出力されません。
- モニター2、3のコントロールをしないときは、モニター2、3のワイヤレス、コントロールS入力、マニュアルスイッチをすべて「切」にしてください。

スピーカーをつなぐ

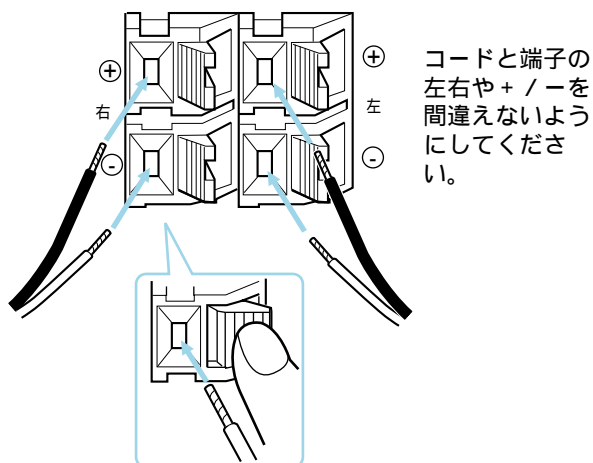
本機裏面

スピーカー（右）　スピーカー（左）

スピーカーの種類について

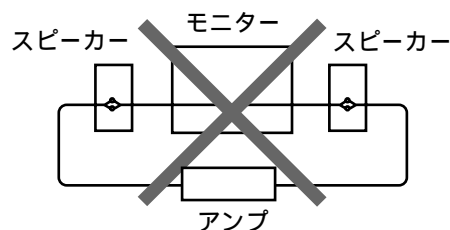
- インピーダンスが8～16Ωのものをお使いください。
- 磁気シールドされていないスピーカーをお使いになるときはモニターに密着させておくと、磁気の影響で色ムラが起こることがあります。この場合は、スピーカーをモニターから離してお使いください。色ムラが残っている場合には、モニターを消磁（デガウス）してください。☞38ページ

スピーカーコードのつなぎかた

1 コードの先端部分（15ミリ）の被覆を切り取り、芯線をよじる。

2 スピーカー出力端子のレバーを押しながら、コードを差し込む。

3 コードを軽く引っぱり、接続を確かめる。

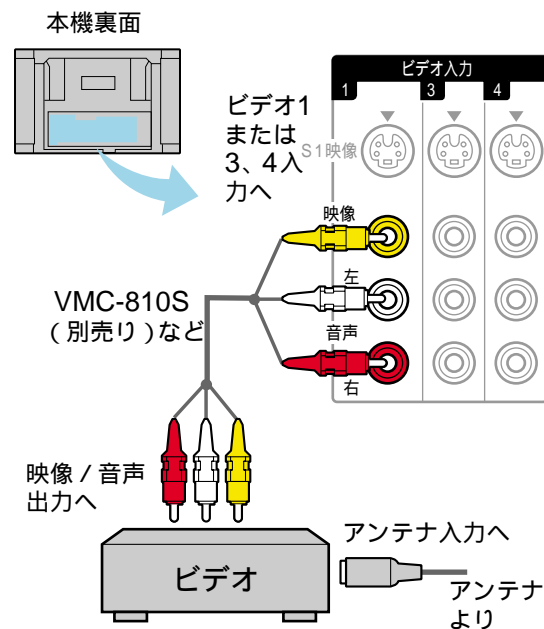
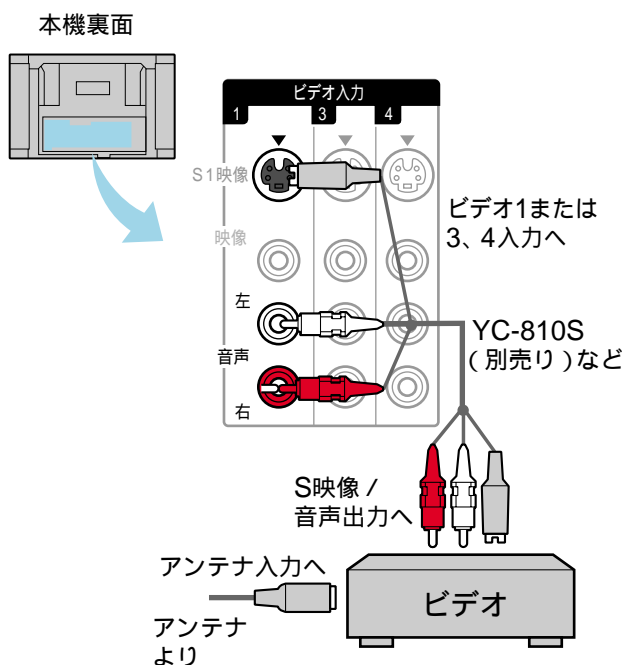
ご注意

- 芯線がはみ出してスピーカー端子どうしがショートしないようにしてください。
- 一組のスピーカーをお手持ちのアンプとモニターの両方へ接続しないでください。スピーカーコードを通じてアンプから過大な電流が流れることがあり、モニターの故障の原因になります。

- 電源を入れてからスピーカーの位置を動かすと、画面に色ムラが起きることがあります。この場合は、モニターを消磁（デガウス）してください。☞38ページ

ビデオなどをつなぐ

ビデオデッキの使用目的によって接続のしかたが異なります。目的に合ったつなぎかたを選んでください。

基本の接続

S映像端子のないビデオデッキ

S映像端子付きビデオデッキ

S1映像*端子と映像端子の使い分けかた

接続する機器によって、S1映像端子どうしの接続がよいものと、映像端子どうしの方がよいものとがあります。下表を参考にして、よりよい画像でお楽しみください。

接続する機器	おすすめする端子
TVチューナー BSチューナー	映像
デジタルCSチューナー	S1映像
レーザーディスクプレーヤー *1	映像
ビデオデッキ *2 ビデオカメラの再生	S1映像
ビデオカメラのカメラスルー	S1映像
MUSE-NTSCコンバーター *3	S1映像
ゲーム機	S1映像

*1 三次元Y/C分離回路*搭載のレーザーディスクプレーヤーの場合は、接続の違いによる画質の差はほとんど生じません。再生モードにはデジタルを使わず、ノーマルで再生してください。

*2 TBC（タイムベースコレクター）内蔵のビデオデッキでNTSC標準信号化できる場合も原則としてS1映像端子をおすすめします。

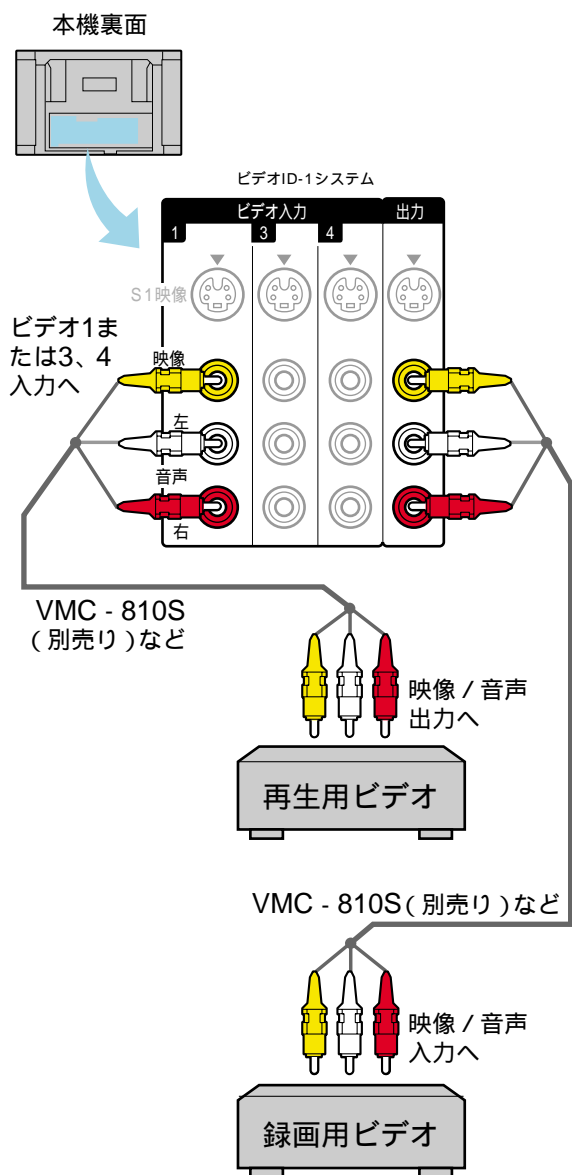
*3 MUSE-NTSCコンバーター内蔵BSチューナーの場合は、MUSE放送をご覧になるときは、S1映像端子、そのほかのBS放送をご覧になるときは映像端子をおすすめします。

- S映像端子のない機器の場合は、映像端子をお使いください。

S1映像／映像の切換

S1映像端子と映像端子を同時に接続すると、S1映像端子につないだ機器の画像が優先されて映ります。映像端子につないだ機器の画像を見るときは、下記の手順に従って「S映像」を「切」にしてください。

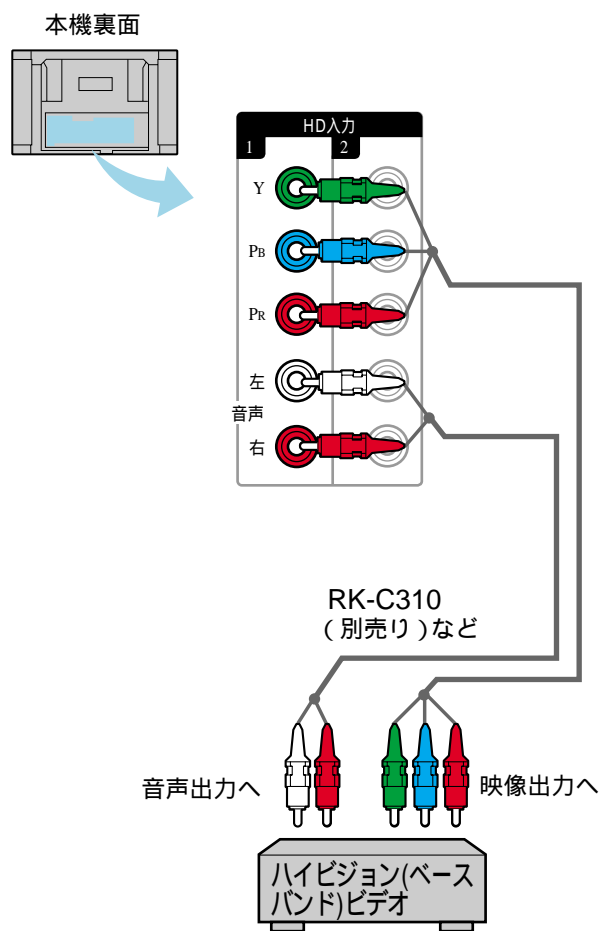
1. 入力切換ボタンを押して設定したいビデオ入力を選ぶ。
2. メニューボタンを押す。
3. 選択＋／－ボタンを押して「各種設定」を選び、決定ボタンを押す。
4. 選択＋／－ボタンを押して「S映像」を選び、決定ボタンを押す。
5. 選択＋／－ボタンを押して「切」を選び、決定ボタンを押す。
6. メニューボタンを押してメニューを消す。

編集するときの接続

ご注意
1台のビデオ機器に、本機からの出力と入力の両方の端子を同時に接続しないでください。画像が乱れることがあります。

ハイビジョン*（ベースバンド）ビデオなど

ハイビジョンのビデオ（ベースバンド）をつなぐことができます。

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞50ページ

接続編

接続できるマルチメディア機器の種類

接続できる信号の種類

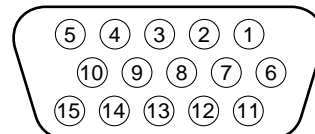
マルチメディア機器は種類によって信号形式が異なります。
下記の信号であることを確認のうえ接続してください。

対応信号	表示（ドット×ライン）	水平周波数	垂直周波数
VGA*1 グラフィックス	640×480	31.5kHz	60.0Hz
VGA*1 テキスト	640×400	31.5kHz	70.0Hz
Macintosh*2 13インチ カラー	640×480	35.0kHz	66.7Hz

*1 VGAは米国IBM社の登録商標です。
*2 Macintoshはアップルコンピューター社の登録商標です。

ご注意

- 上記の対応信号以外の機器を接続すると、故障の原因となるおそれがありますので、接続しないでください。
- 映像は、画質モードを「標準」値にしてご覧になることをお勧めします。
- マルチメディア機器によっては「VGA対応」などとなっていても、まれに水平周波数、垂直周波数及び同期信号などが本機に合わず、映らないものがあります。

RGB入力端子（本機上面）（3列15ピンDサブコネクター）のピン配置

1	2	3	4	5
R	G	B	GND	GND

6	7	8	9	10
GND	GND	GND	–	GND

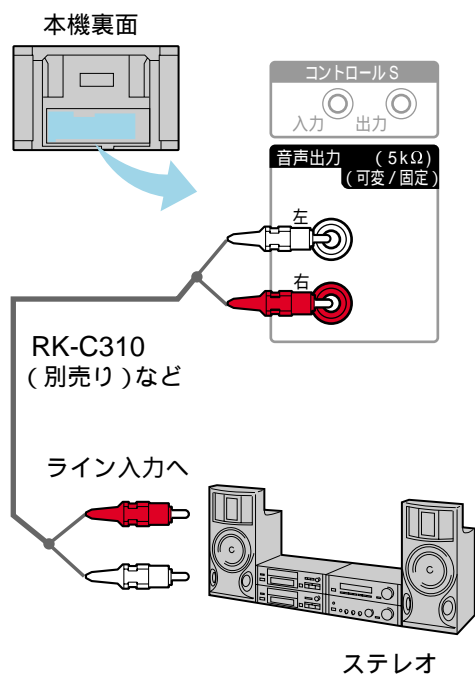
11	12	13	14	15
GND	–	H SYNC	V SYNC	–

GND：アース　R：赤入力　G：緑入力　B：青入力
ー：未使用　H SYNC：水平同期入力
V SYNC：垂直同期入力

オーディオ機器をつなぐ

ステレオやアクティブスピーカーなどのアンプ内蔵機器を接続するには、音声出力（可変／固定）端子を使います。
お買い上げ時の設定では本機のリモコンで、接続した音声機器からの音量を調節できるようになっています。リモコンは本機に向けてください。

本機裏面

コントロール S
入力
出力
音声出力　(5kΩ)
(可変／固定)
左
右
RK-C310
（別売り）など
ライン入力へ
ステレオ

接続したオーディオ機器で音量を調節するには

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「音声出力」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「固定」を選び、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

注意

「音声出力」を「固定」に切り換えるときは、必ず接続するオーディオ機器の音量を最小にしてから切り換えてください。「固定」になっているときは、可変時の最大の音量が出力されます。

スピーカー出力端子につないだスピーカーの音声を切るには

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「音質」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「スピーカー」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「切」を選び、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

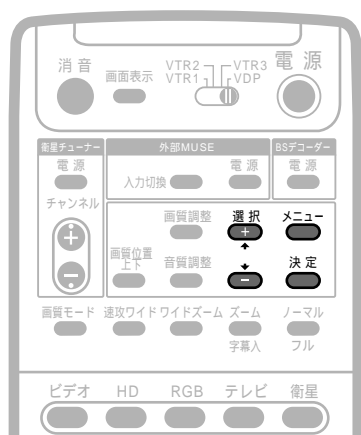
「音声出力」と「スピーカー」は、本体前面のコントロールパッドを使って設定することもできます。

地磁気による画像の傾きを補正する

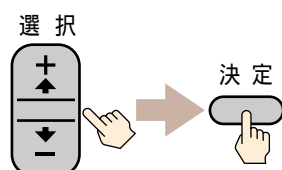
設置後、モニターの向きを決めたら、方角補正をしてください。地磁気の影響が軽減され、よりよい画面をお楽しみいただけます。

1 メニューボタンを押す。

2 選択＋／ーボタンを押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 選択＋／ーボタンを押して「方角補正 回転」を選び、決定ボタンを押す。

4 選択＋／ーボタンを押して調整し、決定ボタンを押す。

画像を見ながら画面内の水平線がいちばん水平になるように調整します。

5 メニューボタンを押してメニューを消す。

ご注意

- 高圧線の近くや鉄筋コンクリート造りの家などでは、うまく補正されないことがありますので、お買い上げ店にご相談ください。
- モニターの近くに大きなスピーカーがあると、うまく補正されません。スピーカーから離して設置してください。

画面位置を上下に補正するには

（HD1、2、RGB入力の時にのみ調整できます。）

設置時、方向によっては画面の上下位置がずれることがあります。つぎの方法で補正してください。

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「方角補正 上下」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して画面の上下位置を調整し、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

補正された画面の位置は電源を切っても変わりません。

方角補正は、本体前面のコントロールパッドを使って行うこともできます。

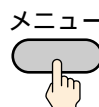
チューナーのタイプを切り換える

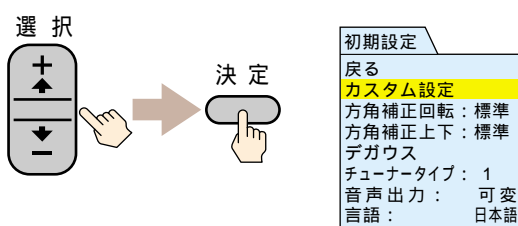
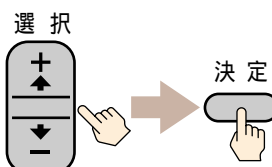
本機のリモコンで、接続しているソニー製チューナー*の電源入／切やチャンネル切換ができます。あらかじめお使いになるチューナーのタイプを設定しておく必要があります。

* ソニー製デジタルCSチューナーは除きます。下記のチューナータイプの設定に関係なく、本機リモコンでデジタルCSチューナーの電源入／切やチャンネル切換はできません。

ご注意

- お買い上げ時は、「チューナータイプ：1」に設定されています。
- コントロールS端子に接続しているときはリモコンをモニターに向けて操作してください。コントロールS端子に接続していないときはリモコンをチューナーに向けて操作してください。

チューナータイプの設定は、本体前面のコントロールパッドを使って行うこともできます。

1 **メニューボタンを押す。**

2 **選択＋／−ボタンを押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **選択＋／−ボタンを押して「チューナータイプ」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **選択＋／−ボタンを押して「1」または「2」を選び、決定ボタンを押す。**

チューナータイプ	お手持ちのチューナー
1	SAT-900TV
2*	VT-X5R/X3R/X2R

* ビデオボタンが働かなくなります。ビデオ入力を切り換えるときはビデオ1〜4ボタンを押してください。

5 **メニューボタンを押してメニューを消す。**

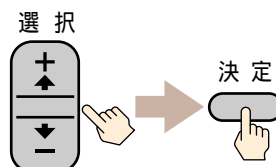
設定編

お好みに合わせたメニューにする（カスタ

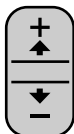
本体のCONTROLキーまたはリモコンのメニューボタンを押したときに最初に表示されるメニューの項目をお好みに合わせて変更することができます。（最大7項目）
よく使用する項目を入れておくと便利です。

1 メニューボタンを押す。

2 選択＋／－ボタンを押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 選択＋／－ボタンを押して「カスタム設定」を選び、決定ボタンを押す。

カスタム設定 1 / 3

戻る	・スタンダード	・色温度：
・ビデオ1	・シアター	・N R：
・ビデオ2	・モニター	・V M：
・ビデオ3	・ピクチャー：	・Hホワイト:
・ビデオ4	・色あい:	・Dピクチャー:
・H D 1	・色の濃さ:	・色補正：
・H D 2	・明るさ:	・ガンマ補正：
・R G B	・シャープネス：2 / 3↓	カスタム：

4 選択＋／－ボタンを押して登録したい項目を選び、決定ボタンを押す。

カスタム設定		1/3	色あい
戻る	・スタンダード	・色温度：	
・ビデオ1	・シアター	・N R：	
・ビデオ2	・モニター	・V M：	
・ビデオ3	・ピクチャー：	・Hホワイト:	
・ビデオ4	◘色あい:	・Dピクチャー:	
・H D 1	・色の濃さ:	・色補正：	
・H D 2	・明るさ:	・ガンマ補正：	
・R G B	・シャープネス：2 / 3↓		カスタム：切

- 2つ以上の項目を登録したいときは手順4を繰り返してください。
- カスタム設定の2または3ページ目に移りたいときは、選択＋／－ボタンを押して「2／3↓」または「3／3↓」選び、決定ボタンを押してください。同様に、1または2ページ目に戻りたいときは「1／3↑」または「2／3↑」を選んでください。

5 選択＋／－ボタンを押して「カスタム」を選び、決定ボタンを押す。

6 選択＋／－ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。

7 メニューボタンを押してメニューを消す。

次回、CONTROLキーまたはリモコンのメニューボタンを押したときは、設定したカスタムメニューが表示されます。

カスタムメニュー一覧

	スタンダード	色温度
ビデオ1	シアター	NR
ビデオ2	モニター	VM
ビデオ3	ピクチャー	Hホワイト
ビデオ4	色あい	Dピクチャー
HD1	色の濃さ	色補正
HD2	明るさ	ガンマ補正
RGB	シャープネス	

	ワイドズーム	横サイズ
DC補正	ズーム	ピン歪上コーナー
高音	字幕入	ピン歪下コーナー
低音	フル	ピン歪上下
バランス	ノーマル	ピン歪左右
サラウンド	画面位置上下	縦台形
スピーカー	縦サイズ	横台形
オートワイド	画面位置左右	

	時刻表示	言語
縦線傾き	HHデコード	
縦線弓曲	S映像	
コンバーH位置	方角補正回転	
コンバーアンプ	方角補正上下	
コンバーチルト	デガウス	
画面表示	チューナータイプ	
消画	音声出力	

カスタム設定した項目を取り消すには

左記の手順4で、選択＋／－ボタンを押して取り消したい項目を選び、決定ボタンを押します。取り消した項目は右上のコラムから削除されます。

通常のメニュー画面を表示するには

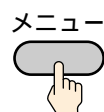
左記の手順6で「切」を選んでください。

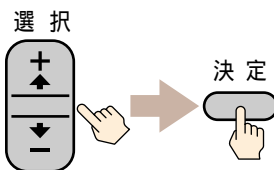
カスタム設定は、本体前面のコントロールパッドを使って行うこともできます。

色ムラを取り除く

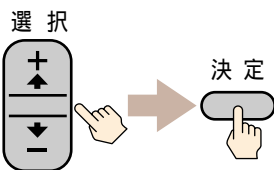
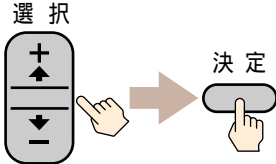
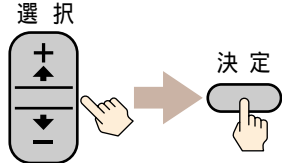
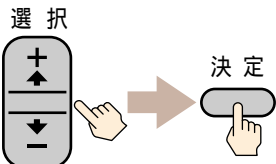
スピーカーやオーディオ機器など、磁気を発生するものをモニターの近くに設置したり、モニターの向きを変えたりすると、画面に色ムラが起こることがあります。
下記の手順でモニターを消磁（デガウス）してください。

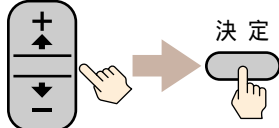
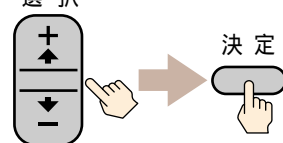
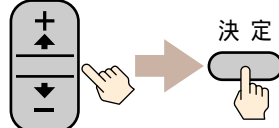
電源を入れたときや、もう一度デガウスする必要があるときは、15分以上たってから行うと、充分な効果が得られます。

デガウスは、本体前面のコントロールパッドを使って行うこともできます。

1　メニューボタンを押す。

2　選択＋／ーボタンを押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。

初期設定
戻る
カスタム設定
方角補正回転：標準
方角補正上下：標準
デガウス
チューナータイプ： 1
音声出力： 可変
言語： 日本語

3　選択＋／ーボタンを押して「デガウス」を選び、決定ボタンを押す。

一瞬画面が消えます。

4　メニューボタンを押してメニューを消す。

その他の設定

画面表示を英語にする

1 **メニューボタンを押す。**

2 **選択＋／ーボタンを押し「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **選択＋／ーボタンを押して「言語」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **選択＋／ーボタンを押して「ENGLISH」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **メニューボタンを押してメニューを消す。**

画面表示を日本語に戻すには

上記の手順4で「日本語」を選びます。

ワイドクリアビジョンの再生モードを切り換える

ワイドクリアビジョン放送*は電波状態が悪いと映像が見づらくなることがあります。そのときは下記の手順で水平解像度補強信号をデコード（復元）しないようにすると、見やすくなる場合があります。

1 **メニューボタンを押す。**

2 **選択＋／ーボタンを押して「各種設定」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **選択＋／ーボタンを押して「HHデコード」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **選択＋／ーボタンを押して「切」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **メニューボタンを押してメニューを消す。**

再び水平解像度補強信号をデコード（復元）するときは

上記の手順4で「入」を選びます。

設定編

故障かな？と思ったら

症状	対処
テレビが映らない／またはSTANDBY（スタンバイ）ランプが点滅している	■ STANDBY（スタンバイ）ランプが点滅していたら、☞41ページの「自己診断表示」をご覧ください。 ■ 電源コードが外れていませんか？ ■ モニター本体の電源は入っていますか？
オートワイドのときに画面モードが勝手に切り換わる	■ 最適なワイド画面に自動的に切り換えるため、場面が変わったときなどに画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかることがありますが、故障ではありません。（「オートワイド」が「2」のとき） ■ 識別信号のある画像を受信して、信号に対応した画面モードになるためです。（☞9ページ）（「オートワイド」が「1」または「2」のとき） ■ 手動でワイド画面を切り換えていませんか？（☞10ページ）（「オートワイド」が「1」または「2」のとき）
画像、音が全く出ない	■ 電源コードがはずれていませんか？ ■ モニター本体の電源は入っていますか？ ■ 信号は入力されていますか？ ■ 正しく接続されていますか？（☞24〜33ページ） ■ 接続コードがはずれていませんか？ ■ リモコンのビデオ、HD、RGBボタンを押してみてください。（☞8ページ）
画像は出るが、音が出ない	■ 音量が下がりきっていませんか？ ■ 画面に「消音」の表示が出ていませんか？ ■ メニューで「スピーカー」を「切」にしていませんか？ ■ スピーカーコードがはずれていませんか？
音は出るが、画像は出ない	■ メニューで「消画」を「入」にしていませんか？（☞5ページ） ■ S映像入力と映像入力を選び間違えていませんか？（☞30ページ）
左右の音量が違う	■ メニューで左右の音量バランスを調整してください。（☞20ページ）
画面がぼけている	■ メニューで「NR」を「切」にしてみてください。（☞19ページ） ■ メニューで「VM」を「切」にしていませんか？（☞19ページ）
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い	■ 画質モードボタンを押してみてください。（☞18ページ） ■ 画質調整ボタンを押して調整してください。（☞19ページ） ■ デガウスしてみてください。（☞38ページ）
画面の一部に色むらがある	**モニターの近くから地磁気を乱すものを遠ざける** ■ モニターをマンションの鉄骨や金属スタンドなどから離して設置してください。 ■ ビデオやスピーカーなどをモニターから離して設置してください。 **モニターの向きを変えたときに発生するときは** ■ 地磁気の影響によるものです。（☞38ページ）
画像が二重、三重になる	■ チューナーにつないだアンテナ線がはずれかかっていませんか？山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込み、画像が二重、三重になることがあります。アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 ■ 突然画像が二重、三重になった場合は、お買い上げ店などにご相談ください。
雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく	■ チューナーにつないだアンテナが風でこわれたり曲がったりしていませんか？ ■ チューナーにつないだアンテナの寿命ではありませんか？通常3〜5年、海辺では1〜2年です。 ■ チューナーにつないだアンテナ線がはずれていませんか？
斑点や点模様が走る	■ ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波が原因です。 ■ チューナーにつなぐアンテナはなるべく道路から離してください。
画像が傾く	■ メニューで「方角補正 回転」を調整してください。（☞34ページ）
雑音または縞状のノイズが多い	■ チューナーとアンテナの接続にフィーダー線を使用していませんか？ ■ モニターを壁から離して設置してください。壁の中の配線がフィーダー線になっているときは、ノイズが軽減されます。
ビデオの再生／録画時に縦縞状のノイズが出る	■ ビデオヘッドが干渉するためです。できるだけビデオをモニターやチューナーから離して設置してください。
キャビネットから「ピシッ」というきしみ音が出る	■ 周囲の温度変化でキャビネットが伸縮するときに「ピシッ」という音が出ることがあります。故障ではありません。

電源を入れたときにブーンという音がする	■ 地磁気などの影響を取り除くために動作させる消磁回路の動作音です。故障ではありません。
モニターの電源を切った直後に、モニターの後ろからパチパチ音がする	■ モニター内部で発生する静電気が原因です。故障ではありません。
メニュー画面で項目を選べない／暗く灰色に表示されている項目がある	■ 見ている映像の種類やメニュー画面で設定した状況によって、選べないように制約されているためです。メニュー画面で、暗く灰色に表示されている項目は、選べません。
パソコンなどマルチメディア機器の映像が乱れる	■ マルチメディア機器の信号は、本機の対応信号でしょうか？
パソコンなどマルチメディア機器の映像が欠ける	■ 画面モードを変えたり（☞10ページ）、画面調整（☞13ページ）、画質調整（☞18ページ）を行ってください。 ■ メニューの「画面モード」や「初期設定」で、画面の表示範囲や位置を調整できます。設定値をご確認下さい。 画面モード：「画面位置左右」「画面位置上下」「縦サイズ」「横サイズ」（☞13~15ページ） 初期設定：「方角補正回転」「方角補正上下」（☞34ページ）
パソコンなどマルチメディア機器の映像の色がおかしい・にじむ	■ 画質調整を行ってください。（☞18ページ）
パソコンなどマルチメディア機器の映像の縦の線が曲がる	■ 縦線歪みの調整を行ってください。（☞17ページ）
パソコンなどマルチメディア機器の映像が映らない	■ 正しく接続されていますか？（☞6ページ） ■ ケーブルまたはアダプターは正しいものを使っていますか？（☞6ページ） ■ 3列15ピンDサブコネクターのピンが曲がっていませんか？
パソコンなどマルチメディア機器の映像で波模様や点状の模様（モアレ）が出る	■ マルチメディア機器の信号の解像度、ブラウン管のピッチ、またはいくつかの画像パターンのドットピッチ間の関係によっては、モアレが出ることがあります。
リモコンで操作することができない	■ 電池が消耗していませんか？ ■ 電池が逆向きに入っていませんか？ ■ 本体のSTANDBY（スタンバイ）ランプが点灯していますか？ついていないときは、本体の電源スイッチを押してください。 ■ リモコン受光部との距離が離れすぎたり、角度が大きすぎませんか？ ■ リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっていませんか？離して設置してください。 ■ 本機裏面のコントロールワイヤレススイッチが「切」になっていませんか？（☞25ページ）
STANDBY（スタンバイ）ランプが点滅していたら	■ 点滅の回数を数えて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

メニューの各項目や機能を全てお買い上げ時の設定にもどすには

リモコンの決定ボタンと画面表示ボタンを同時に押してください。（元どおり機能）

自己診断表示 － 画面が消え、STANDBY（スタンバイ）ランプが点滅したら

本機には自己診断機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、STANDBY（スタンバイ）ランプの点滅およびその回数でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。
STANDBY（スタンバイ）ランプが点滅したら、右の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

1. STANDBY（スタンバイ）ランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。
   たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅…
   この場合の点滅回数は2回です。
2. テレビ本体の電源スイッチで電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に点滅回数をお知らせください。

その他

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

➡「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

➡お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

➡保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

➡修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーモニターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

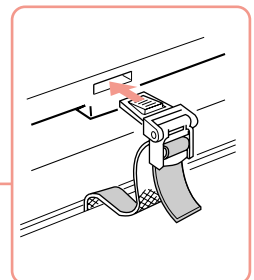
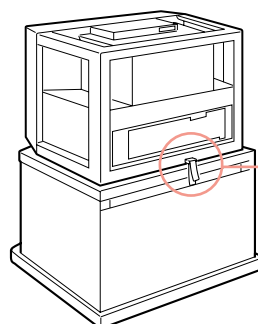
型名：KX-32HV50
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店 TEL.
お近くのサービスステーション TEL.

This monitor is designed for use in Japan only and is not to be used in any other country.

モニターの転倒を防ぐために

お子様がモニターに登ったり、押したりすると、モニターが倒れる恐れがあります。市販のテレビスタンド等を使用するときは、下記の別売り品を使用してモニターの転倒を防いでください。

テレビ・ラック固定ベルト：BLT-R10

主な仕様

システム

受信方式　NTSC方式
1125/60高精細度テレビジョン方式
ブラウン管*　HDトリニトロン110度偏向32型
＊モニターの型は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
画面寸法　32型 66.2×37.3、76cm
（幅×高さ、対角径）

入出力端子

音声出力　ピンジャック、2チャンネル
0～500mVrms（音声可変、100%変調時）
出力インピーダンス　5kΩ以下

ビデオ1、2、3、4入力端子
S1映像：4ピンミニDIN
Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像：ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms、インピーダンス47kΩ以上

ビデオ出力端子　S1映像：4ピンミニDIN
Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、
同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms、インピーダンス 5kΩ以下

HD1、2入力端子　映像：ピンジャック
Y　1Vp-p（3値同期付）
P_B、P_R：±350mVp-p
3値同期：±300mVp-p
入力インピーダンス 75Ω
音声：ピンジャック、2チャンネル
500mVrms、インピーダンス47kΩ以上

RGB入力端子（本機上面）
映像：D-SUB、3列、15ピン
RGB映像信号　アナログ0.7Vp-p、75Ω
水平同期信号　TTLレベル、正負極性
垂直同期信号　TTLレベル、正負極性
音声：ミニジャック、2チャンネル
500mVrms、インピーダンス47kΩ以上

RGB入力端子（本機裏面）
映像：ピンジャック
RGB映像信号　アナログ0.7Vp-p、75Ω
水平同期信号　TTLレベル、正負極性
垂直同期信号　TTLレベル、正負極性
複合同期信号　1～5Vp-p、2kΩ
音声：ピンジャック、2チャンネル
500mVrms、インピーダンス47kΩ以上

コントロールS入／出力端子
ミニジャック
スピーカー出力端子　実用最大　15W×2

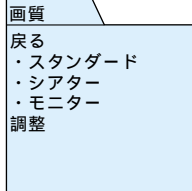
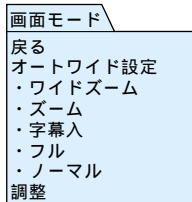
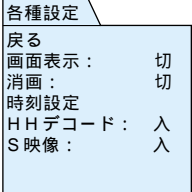
電源部・その他

消費電力　245W（リモコン待機時2.5W）
年間消費電力量**　315kW•h/年
＊＊年間消費電力量とは：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4～5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

最大外形寸法　82.4×53.4×60.0cm
（幅×高さ×奥行き）
質量　約67.5kg
電源　AC100V、50/60Hz
付属品　リモートコマンダー RM-J201（1）
乾電池　単3型（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
安全のために（1）
安全点検のおすすめ（1）

別売りアクセサリー

ふしぎリモコン　RM-J152
モニタースタンド　SU-32HVX
テレビ・ラック固定ベルト
BLT-R10
スピーカー　SS-X50A
接続ケーブルなど

ご注意

接続するマルチメディア機器などのタイミングで推奨信号以外の信号を入力したときは、文字表示領域の大きさが変化したり、画面の位置がずれたりすることがありますが、これはモニターの故障ではありません。

- このモニターは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

メニュー画面一覧

下記の入力切換画面、メニュー画面はお買い上げ時の設定のものです。カスタムメニュー（☞36ページ）で設定を変更するとメニュー画面の表示は変わります。
メニューの各項目や機能を全てお買い上げ時の設定に戻すには、リモコンの決定ボタンと画面表示ボタンを同時に押してください（元どおり機能）。

メニュー画面	機能	内容
入力切換 **入力切換** ・ビデオ１ ・ビデオ２ ・ビデオ３ ・ビデオ４ ・ＨＤ１ ・ＨＤ２ ・ＲＧＢ メニュー	ビデオ1	入力を切り換えます。
	ビデオ2	
	ビデオ3	
	ビデオ4	
	HD1	
	HD2	
	RGB	
メニュー **メニュー** 画質 音質 画面モード 各種切換 初期設定 入力切換		
画質 戻る ・スタンダード ・シアター ・モニター 調整	**画質**	3種類の画質モードそれぞれの調整内容を入力端子ごとに記憶します。
	スタンダード	明暗のはっきりした、調和のとれた画像。明るいお部屋に適しています。
	シアター	明るさを落とし、暗い部分の微妙な階調を忠実に再現する画像。部屋を暗くして、映画やレンタルソフトを見るときに適しています。
	モニター	信号本来の画像です。ビデオカメラで撮った画像など補正されていない映像のチェックに適しています。
	調整	上記の画質モードごとにさらに細かく調整します。 （調整項目は☞19ページ）
音質 戻る 高音：　標準 低音：　標準 バランス：　標準 サラウンド：　切 └　標準 スピーカー：　入	**音質**	設定された音質を入力端子ごとに記憶します。
	高音	高音を調整します。
	低音	低音を調整します。
	バランス	左右のスピーカーから出る音のバランスを調整します。
	サラウンド*	サラウンド*効果の種類を選びます。
	標準	音質をお買い上げ時の設定に戻します。
	スピーカー	スピーカー端子に接続したスピーカーからの音声を「入」「切」します。
画面モード 戻る オートワイド設定 ・ワイドズーム ・ズーム ・字幕入 ・フル ・ノーマル 調整	**画面モード**	映像の各周波数ごとに最大5種類の画面モードに対してそれぞれの調整内容を記憶します。（☞13ページ）
	オートワイド設定	オートワイドの動作状態を選びます。（☞11ページ）
	ワイドズーム	4：3の映像を16：9に拡大し、はみ出た部分を圧縮して画面の上下におさめます。
	ズーム	横長の映像をそのまま拡大します。
	字幕入	横長の映像をそのまま拡大し、字幕の部分を圧縮して画面の中におさめます。
	フル	4：3の映像を16：9の画面いっぱいに横に引き伸ばします。
	ノーマル	4：3の映像をそのまま映します。
	調整	上記の各画面モードごとに微調整します。 （調整項目は☞13ページ）
各種設定 戻る 画面表示：　切 消画：　切 時刻設定 ＨＨデコード：　入 Ｓ映像：　入	**各種設定**	
	画面表示	画面表示の「入」、「切」をします。
	消画	映像のみを消します。
	時刻設定	時刻を設定します。
	HHデコード	ワイドクリアビジョン放送の水平解像度補強信号のデコード（復元）を「入」、「切」します。
	S映像	S映像、映像を切り換えます。

メニュー画面	機能	内容
	初期設定	
	カスタム設定	CONTROLキーやメニューボタンを押したときに、お好きなメニュー項目を表示させるように設定することができます。
	方角補正回転	モニターを設置した後、地磁気による画面への影響を補正します。
	方角補正上下	モニターを設置した後、地磁気による画面への影響を補正します。（HD1、2、RGB入力のときのみ）
	デガウス	モニターを消磁して色ムラを取り除きます。
	チューナータイプ	接続しているソニー製チューナー（デジタルCSチューナーは除く）のタイプを設定します。
	音声出力	音声出力端子から出力される音声の「固定」、「可変」を切り換えます。
	言語	画面表示の言語を「日本語」と「ENGLISH」から選べます。

画質・音質・画面モードの調整を記憶できる数

入力端子	画質	音質
ビデオ1	スタンダード、シアター、モニター	1種類
ビデオ2	スタンダード、シアター、モニター	1種類
ビデオ3	スタンダード、シアター、モニター	1種類
ビデオ4	スタンダード、シアター、モニター	1種類
HD1	スタンダード、シアター、モニター	1種類
HD2	スタンダード、シアター、モニター	1種類
RGB	スタンダード、シアター、モニター	1種類

入力信号の水平周波数	調整できる画面モード
NTSC 15.75kHz	ズーム、フル、ノーマル ワイドズーム、字幕入
VGA ワイドクリアビジョン フルスペック　31.5kHz	ズーム、フル、ノーマル
ハイビジョン　33.75kHz	ズーム、フル
Macintosh 13インチカラー	ズーム、フル、ノーマル

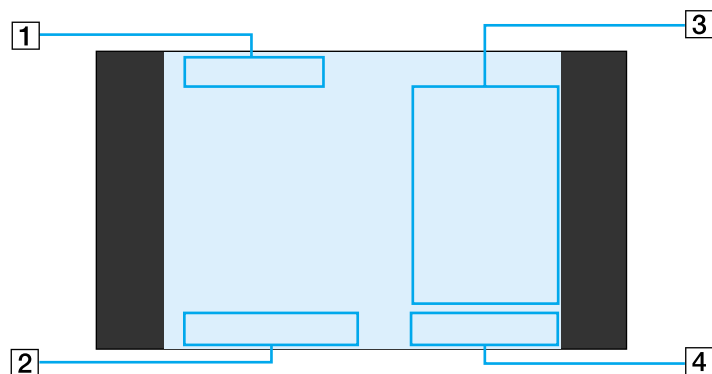
カスタムメニュー一覧

	スタンダード	色温度
ビデオ1	シアター	NR
ビデオ2	モニター	VM
ビデオ3	ピクチャー	Hホワイト
ビデオ4	色あい	Dピクチャー
HD1	色の濃さ	色補正
HD2	明るさ	ガンマ補正
RGB	シャープネス	

	ワイドズーム	横サイズ
DC補正	ズーム	ピン歪上コーナー
高音	字幕入	ピン歪下コーナー
低音	フル	ピン歪上下
バランス	ノーマル	ピン歪左右
サラウンド	画面位置上下	縦台形
スピーカー	縦サイズ	横台形
オートワイド	画面位置左右	

	時刻表示	言語
縦線傾き	HHデコード	
縦線弓曲	S映像	
コンバーH位置	方角補正回転	
コンバーアンプ	方角補正上下	
コンバーチルト	デガウス	
画面表示	チューナータイプ	
消画	音声出力	

表示画面について

例）画面モードがノーマルのとき

1 **入力表示**

選んだ入力が表示されます。

例：ビデオ2

S映像を選択している場合は入力表示の前に「S」の文字がつきます。

例：Sビデオ2

消音表示

2 **画面モード表示**

例：ズーム

画質モード表示

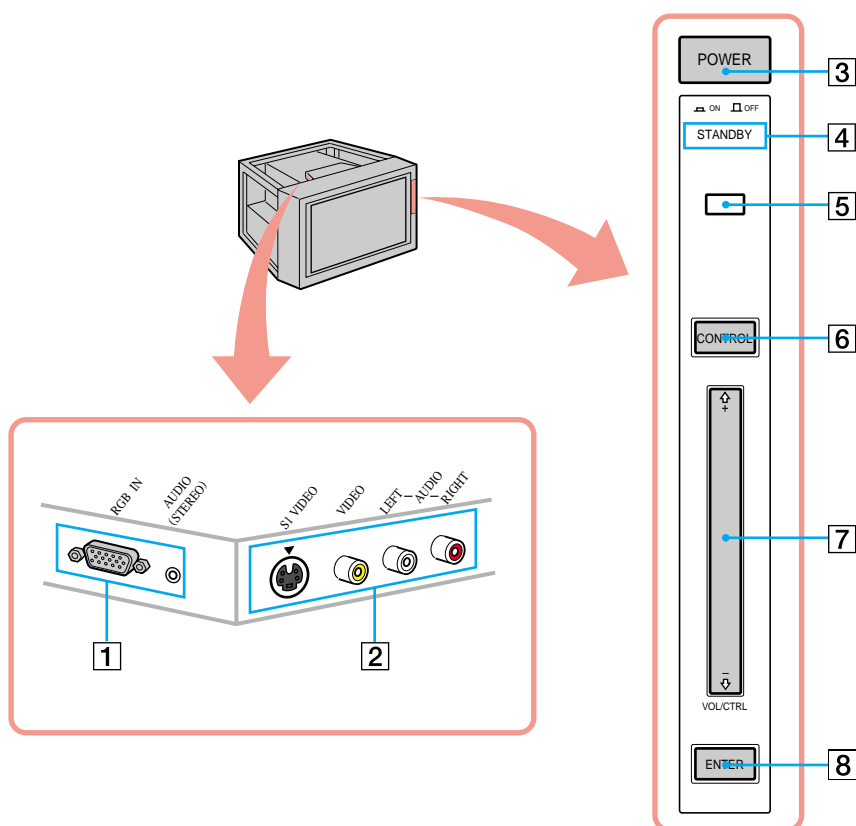
例：スタンダード

3 **メニュー画面**

4 **音量調整**

例：音量　10

各部の名前／Identification of controls

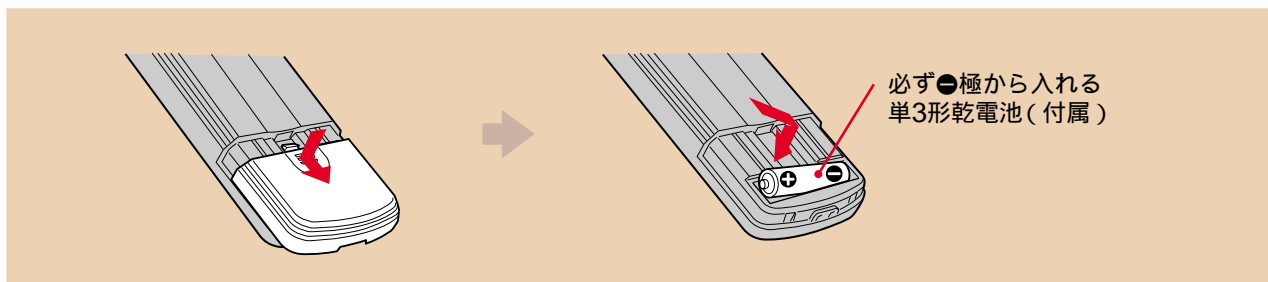
本体上面・前面／Monitor Top & Front Panels

1 RGB IN（RGB入力）端子☞6ページ
AUDIO (STEREO)（音声入力）端子
2 VIDEO 2 IN（ビデオ2入力）端子☞7ページ
S1 VIDEO（S1映像）端子
VIDEO（映像）端子
AUDIO LEFT（音声　左）端子
AUDIO RIGHT（音声　右）端子
3 電源スイッチ☞2、3ページ
4 スタンバイランプ☞2、3ページ
5 リモコン受光部
6 CONTROLキー☞2、3ページ
7 コントロールパッド☞☞2、3ページ
8 ENTERキー☞☞2、3ページ

1 RGB IN connector　page 6
AUDIO (STEREO) input jack
2 VIDEO 2 IN connectors　page 7
S1 VIDEO jack
VIDEO jack
AUDIO LEFT jack
AUDIO RIGHT jack
3 POWER switch　pages 2, 3
4 STANDBY indicator　pages 2, 3
5 Remote control sensor
6 CONTROL key　pages 2, 3
7 Control pad　pages 2, 3
8 ENTER key　pages 2, 3

その他

つづく

リモコン／Remote Control

リモコンに乾電池を入れるには

1 画面表示ボタン☞5ページ
2 消音ボタン☞5ページ
3 衛星チューナー電源ボタン☞5ページ
　チャンネル＋／ーボタン
4 画面位置上下ボタン☞13ページ
5 画質モードボタン☞18ページ
6 入力切換ボタン☞4、8ページ
　　ビデオボタン
　　HDボタン
　　RGBボタン
7 チャンネル数字ボタン☞5、22、23ページ
8 音量＋／ーボタン☞5ページ
9 VTR1／VTR2／VTR3／VDP切換スイッチ
　☞22ページ
10 電源ボタン☞4ページ
11 外部MUSE電源ボタン
　入力切換ボタン
12 BSデコーダー電源ボタン
13 画質調整ボタン☞19ページ
14 メニューボタン☞11ページ
　選択＋／ーボタン
　決定ボタン
15 音質調整ボタン☞20ページ
16 ワイド画面操作部☞9、10ページ
17 テレビボタン☞5ページ
18 衛星ボタン☞5ページ
19 チャンネル＋／ーボタン☞5ページ

20 二重音声ボタン☞5ページ
21 VTR／VDP操作部☞23ページ
22 入力切換ボタン☞4、8ページ
　　ビデオ1ボタン
　　ビデオ2ボタン
　　ビデオ3ボタン
　　ビデオ4ボタン

1 Display button page 5
2 Muting button page 5
3 Satellite Tuner Power switch page 5
Channel +/– button
4 Picture Position Up/Down button
page 13
5 Picture mode button page 18
6 Input Select buttons pages 4, 8
Video button
HD button
RGB button
7 Channel Number buttons pages 5, 22, 23
8 Volume +/– buttons page 5
9 VTR1/VTR2/VTR3/VDP Select switch
page 22
10 Power button page 4
11 External MUSE power button
Input Select button
12 BS (Broadcast Satellite) Decoder power button
13 Picture Adjust button page 19
14 Menu button page 11
Select +/– buttons
Enter button
15 Sound Adjust button page 20
16 Wide Mode Select buttons pages 9, 10
17 TV button page 5
18 Broadcast Satellite button page 5
19 Channel +/– buttons page 5

20 Audio Mode (Bilingual) button
page 5
21 VTR/VDP Operation buttons page 23
22 Input Select buttons pages 4, 8
Video 1 button
Video 2 button
Video 3 button
Video 4 button

用語集

ID-1方式（ビデオ ID-1システム）
ビデオ信号の一部にデジタルのID記号を加算することにより画面の縦横比（16：9、4：3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名称です。本機はID-１方式に対応しています。

S-1方式（S1映像）
S映像のC端子へ直流5Vを重畳することにより画面の縦横比（16：9または4：3）の情報を記録するシステムの名称です。本機はS-1方式に対応しています。

サラウンド
音声に臨場感を出す機能です。
劇場やコンサートホールでは、直接聞こえてくる音（直接音）と、その音が壁などで反射して少し遅れて届く音（間接音）が混ざり合って聞こえてきます。サラウンドはこれを応用したもので、わずかに遅らせた音声信号を混ぜ合わせることで臨場感を出します。

三次元Y/C分離回路
本機内部にある回路で、映像信号を構成するY信号とC信号を別々に処理し、より鮮明な画像を再現します。

シネマスコープサイズ
映像ソフト画面の縦横比が1：2.35になっているものをこのように呼びます。ビスタサイズよりも横長になります。一般的には黒帯に字幕の入る映画などの画像サイズです。

スクランブル
映像、音声の信号を暗号化することです。民間衛星放送などでは、契約者以外には視聴できないように、電波にスクランブルをかけて（暗号化して）送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、解読器（デコーダーなど）が必要です。

デコーダー
スクランブルのかかったBS放送などのスクランブルを解除して視聴するための解読器です。

DOS/Vコンピューター
VGAのビデオボードを備えたIBM PC系のパソコン。日本語表示をできるようにしたDisk Operating Systemを採用したパソコンの名称です。

ハイビジョン実用化試験放送
1996年6月現在、BS9チャンネルではMUSE方式ハイビジョン実用化試験局による放送が行われています。MUSE方式ハイビジョン放送を見るためには、MUSEデコーダーまたは、MUSE-NTSCコンバーターが必要です。

ビスタサイズ
映像ソフト画面の縦横比が1：1.85になっているものをこのように呼びます。一般的には画像の中に字幕が入っている映画などの画像サイズです。

VGA
VGAは米国IBM社の登録商標です。同IBM社で採用されたグラフィックス機構でアナログRGBと640×480ドットの解像度を持ち、最大256色を同時発色できます。DOS/Vを利用するには、VGAのビデオ回路が必要となります。

Macintosh
Macintoshはアップルコンピューター社の登録商標です。

MUSE
ハイビジョンの帯域圧縮伝送方式です。27MHzのハイビジョンの信号を8MHzに圧縮して、衛星放送の1チャンネル分で送れるようにしています。

MUSE-NTSC コンバーター
MUSE方式のハイビジョン放送を現行放送方式（NTSC）に変換するための機器です。

MUSEデコーダー
MUSE方式で圧縮された信号を、ハイビジョン方式の走査線1125本で再現するためのデコーダーです。

ワイドクリアビジョン放送
ワイドクリアビジョン放送は現行テレビジョン放送とも両立性を保ちつつ画面のワイド化と高画質化などが図られた新しいテレビジョン放送です。
また、本機は水平側の画質向上回路を内蔵しており、高精細な映像がお楽しみいただけます。

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ら行

わ行

アルファベット順